

三菱電機店舗・事務所用 パッケージエアコン 室内ユニット

形名

PL-RP40,45,50,56,63,71,80,112,140,160LA19

PD-RP40,50,56,63,71,80,112,140,160GA19

PE-RP50,56,63,71,80,112,140,160DA19

PE-RP224,280EA3

PC-RP224,280BA19

PC-RP224,280CA19

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. 各部の名称	8
2. 別売部品	13
3. ご使用の前に	13
4. 使用方法	19
5. お手入れ	40
6. 定期点検のお願い	44
7. 製品独自のお願い事項	46
8. 据付工事の確認と試運転	47
9. 仕様	47
10. 修理を依頼する前に	49
11. 法令関連の表示	51
12. 保証とアフターサービス	53
13. 環境関連の表示	54
14. ソフトウェア使用承諾	55

取扱説明書

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買上げ日(据付日または試運転完了日)・販売店名(工事店名)」などの記入を確かめて、販売店(工事店)からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」、室外ユニットに付属の「R32冷媒施工時チェックシート」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」および「保証書」をお渡しください。
- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.



もくじ

	ページ		ページ
安全のために必ず守ること	4	5. お手入れ	40
1. 各部の名称	8	6. 定期点検のお願い	44
1-1. 各部のなまえとはたらき	8	7. 製品独自のお願い事項	46
1-1-1. 室内ユニット	8	7-1. 廃棄について	46
1-1-2. 室外ユニット	10	7-2. 移設時の据付場所について	46
1-1-3. リモコン (別売品)	10	8. 据付工事の確認と試運転	47
2. 別売部品	13	9. 仕様	47
3. ご使用前に	13	10. 修理を依頼する前に	49
3-1. 使用上のお願い	13	11. 法令関連の表示	51
3-2. 各種運転について	14	11-1. 標準的な使用条件	51
4. 使用方法	19	11-2. 点検と保全周期の目安	51
4-1. 運転方法	19	11-3. 消耗部品の交換周期目安	52
4-2. 運転モードの切替、室温・風速・ 風向調節	19	12. 保証とアフターサービス	53
4-2-1. 運転の開始、運転モードを 選ぶとき	19	13. 環境関連の表示	54
4-2-2. 設定温度を変えたいとき	20	14. ソフトウェア使用承諾	55
4-2-3. 運転を停止するとき	20		
4-2-4. 風速を変えたいとき	21		
4-2-5. 上下風向を変えたいとき	23		
4-2-6. 上下風向の固定設定方法	25		
4-2-7. 冷風防止ベーン設定方法 (MA スマートリモコンからのみ 設定ができます)	27		
4-2-8. ハイパワー運転を行うとき	29		
4-3. 自動運転、換気運転のしかた	30		
4-3-1. 自動運転を行うとき	30		
4-3-2. 換気運転を行うとき	30		
4-4. その他の表示・点滅について	31		
4-5. タイマ、スケジュール運転のしかた	32		
4-6. ワイヤレスリモコンを使用する場合	33		
4-7. 応急運転のしかた (ワイヤレスリモコンが使えないとき)	33		
4-8. 人感ムーブアイ設定のしかた	34		
4-9. その他の操作について	39		
4-9-1. 長期間使用しないとき	39		

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項



警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- ◆使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- ◆法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。指定冷媒以外を封入した場合の不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

吹き出し風を身体に直接当てないこと。

- ◆体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

冷やし過ぎないこと。

- ◆体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

以下の特殊な環境では使用しないこと。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ

- ◆酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

- ◆性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- ◆燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



禁止

改造はしないこと。

- ◆冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。


- ◆保護装置を改造して運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



変更禁止

ユニットの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。


- ◆ 工具などが落下すると、けがのおそれあり。



禁止

ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。


- ◆ 引火・火災・爆発のおそれあり。



禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。


- ◆ 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



禁止

粉塵が浮遊している場合は、ユニットを使用しないこと。


- ◆ 吸い込みによる故障・発煙のおそれあり。
- ◆ 健康障害のおそれあり。



禁止

ヒューズ交換時は、針金・銅線を使用しないこと。指定容量のヒューズを使用すること。


- ◆ 発火・火災のおそれあり。



禁止

お手入れのときは不安定な台に乗らないこと。


- ◆ 落下・転倒し、けがのおそれあり。



禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。


- ◆ 冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



接触禁止

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。


- ◆ 火傷・感電のおそれあり。



接触禁止

ユニットを水・液体で洗わないこと。


- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

電気部品に水・液体・洗浄スプレー液をかけないこと。


- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。


- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など、高所では足を踏み外さないように作業すること。


- ◆ 落下・転倒し、けがのおそれあり。



指示を
実行

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。


- ◆ けが・感電のおそれあり。
- ◆ 回転機器により、けがのおそれあり。



指示を
実行

薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛けること。


- ◆ 薬品がユニットにかかると、運転時にけがのおそれあり。
- ◆ 薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。



指示を
実行

換気をよくすること。


- ◆ 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- ◆ 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。
- ◆ 燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼により、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



換気を
実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。


- ◆ お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- ◆ 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を
実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。


- ◆ ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。

- ◆ ユニットの落下によるけがのおそれあり。



指示を
実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ◆ 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を
実行

⚠ 注意

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。

- ◆ フィルターの自重降下、落下によるけがのおそれあり。



禁止

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ◆ ファンによるけがのおそれあり。



禁止

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- ◆ 感電・故障のおそれあり。



使用禁止

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- ◆ 保存品が品質低下するおそれあり。



使用禁止

ユニットの下に食品を置かないこと。

- ◆ ほこり・異物の落下により品質低下するおそれあり。



禁止

吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。

- ◆ 悪影響のおそれあり。



禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆ 運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

ぬれて困るものを下に置かないこと。

- ◆ ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。



禁止

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



接触禁止

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ◆ ほこりが目に入り、けがのおそれあり。



指示を
実行

保護具を身に付けて操作すること。

- ◆ 主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。



指示を
実行

電気部品を触る場合は、保護具を身に付けること。

- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。



指示を
実行

作業する場合は保護具を身に付けること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を
実行

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を
実行

ユニットの据付・点検・修理をする前に周囲の安全を確認すること。

- ◆ パネルが落下すると、けがのおそれあり。



指示を
実行

薬品消毒実施後は、薬品のガスを換気により排出すること。その後ユニットを運転すること。

- ◆ ユニットに付着した薬品が飛散し、薬品を浴びると、けがのおそれあり。
- ◆ ユニットが吸い込むと腐食・変形による故障のおそれあり。



ユニット内の冷媒は回収すること。

- ◆ 冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- ◆ 大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。



販売店または専門業者が定期的に点検すること。

- ◆ ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。
- ◆ においが発生するおそれあり。



移設・修理をするときに

警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



分解・修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- ◆ 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ◆ ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



注意

点検・修理時は、配管支持部材・断熱材を確認し劣化したものは補修、交換すること。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れのおそれあり。



1. 各部の名称

1-1. 各部のなまえとはたらき

1-1-1. 室内ユニット

ユニットの形態により、装備している機能が異なります。

		PL-RP40～160LA形	PD-RP40～160GA形	PE-RP50～160DA形
風速		4速(自動可)	3速(自動可)	3速(自動可)
上下風向調整		自動(スイング可)	—	—
エアフィルタ		○(ロングライフ)	○(ロングライフ)	別売
フィルタクリーニングサイン積算時間		2500時間	2500時間	2500時間 ^{※2}
ワイヤレスリモコン 機種設定機種 No. ^{※1}	冷暖切替タイプ	001	018	018
	冷房専用タイプ	161	178	178

		PC-RP224,280BA形	PC-RP224,280CA形	PE-RP224,280EA形
風速		2速	2速	3速(自動可)
上下風向調整		手動	自動	—
エアフィルタ		○	○	別売
フィルタクリーニングサイン積算時間		100時間 ^{※2}	100時間 ^{※2}	2500時間 ^{※2}
ワイヤレスリモコン 機種設定機種 No. ^{※1}	冷暖切替タイプ	019	011	018
	冷房専用タイプ	179	171	178

※1 ワイヤレスリモコンを使用する場合には、ワイヤレスリモコン側へ上表「機種No.」設定を行ってください。

- ・ 室外ユニットタイプ(冷暖切替タイプ/冷房専用タイプ)により設定する「機種No.」が異なります。
- ・ ワイヤレスリモコンの機種設定方法は、ワイヤレスリモコンの据付工事説明書を参照してください。

※2 MAスマートリモコンによる機能選択設定が必要です。設定方法は室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

[1] 本体

(1) PL-RP40～160LA形

水平吹出

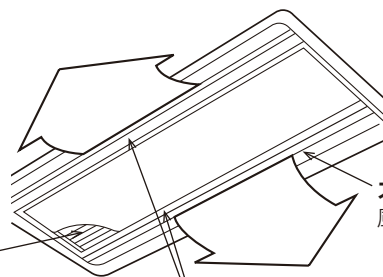
冷房およびドライのときは自動的に水平吹出にセットされます。

下吹出

暖房時は自動的に下吹出にセットされます。

ロングライフフィルタ

吸込んだ空気ほこりやごみを取り除きます。エアフィルタはロングライフフィルタとなっていますので通常冷房・暖房のシーズン始めなどに清掃してください。(特にほこりの多い場所はさらに多く掃除してください。)

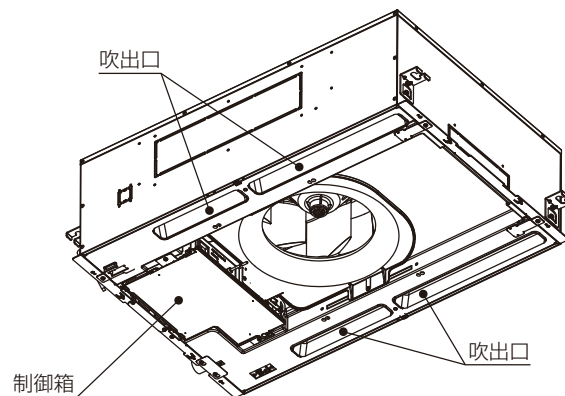


オートベーン

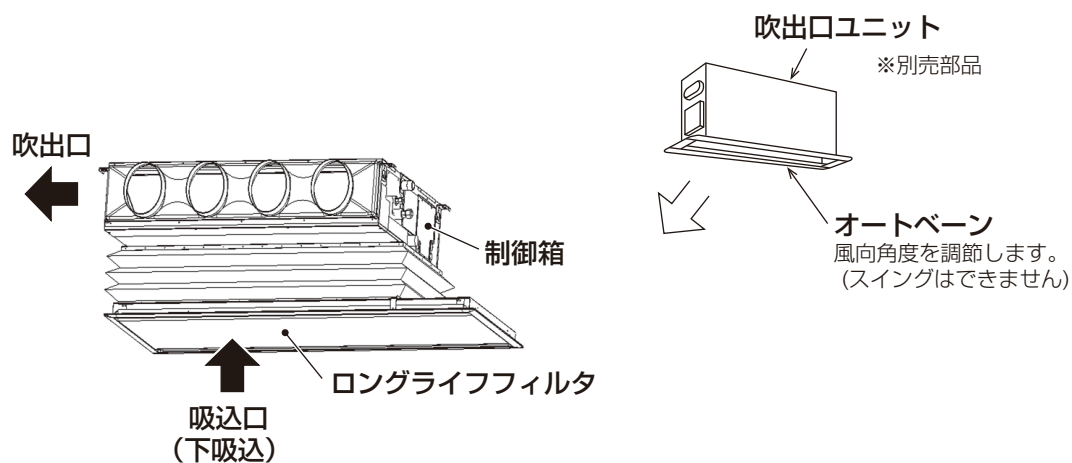
風を上下に拡散したり風向角度を調節します。(詳しくは「4-2-5. 上下風向を変えたいとき(23ページ)」の項を参照してください。)

吸込口

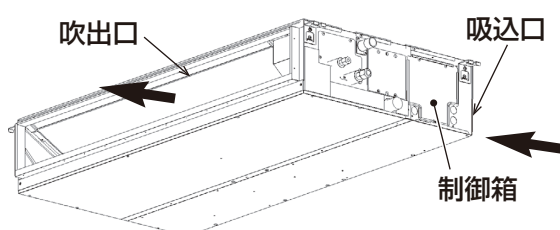
室内の空気を吸い込みます。



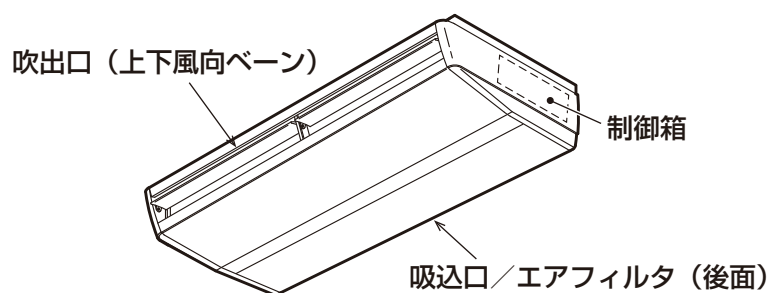
(2) PD-RP40～160GA形



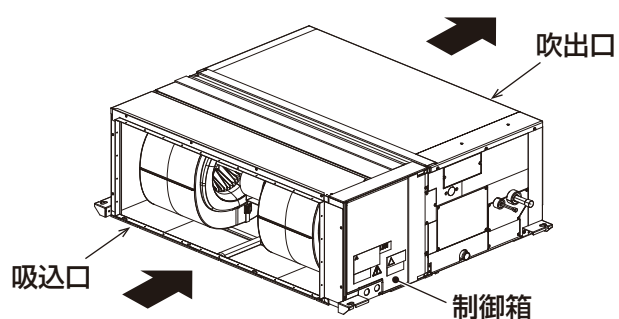
(3) PE-RP50～160DA形



(4) PC-RP224,280BA形 / PC-RP224,280CA形



(5) PE-RP224,280EA形

**お願い**

- ・ 吹出口・吸込口を塞がないでください。
風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれがあります。

⚠ 注意

ユニットの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。

◆ 工具などが落下すると、けがのおそれあり。

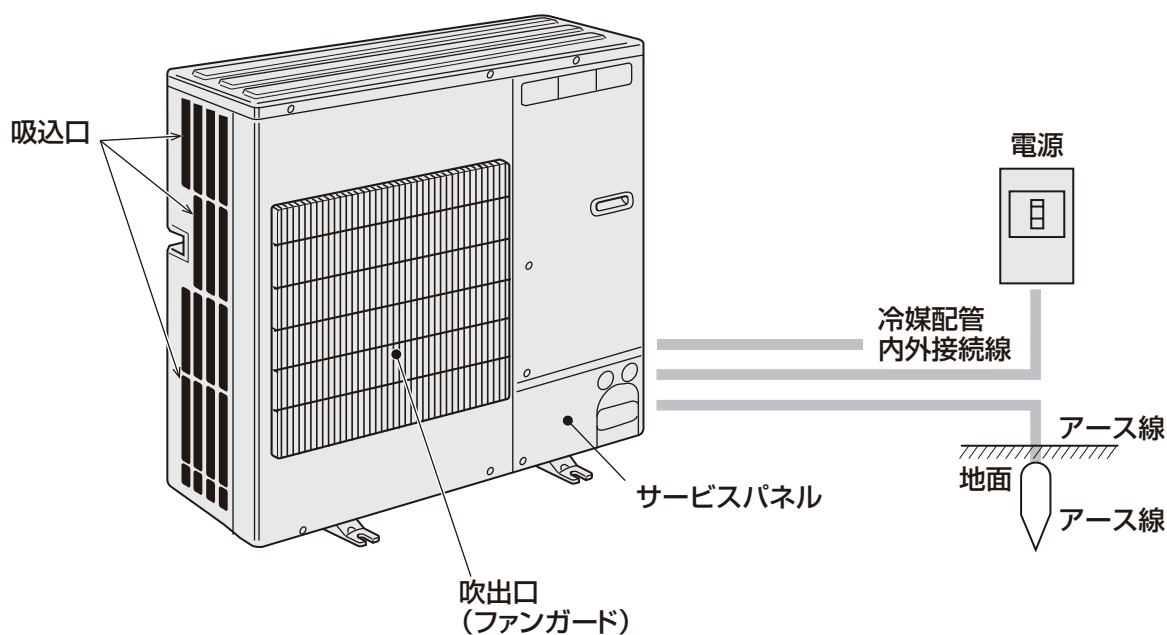


禁止

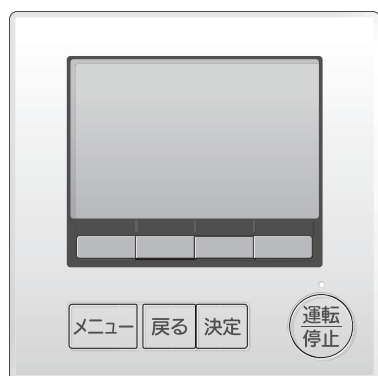
お願い

- 据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。工具が適切でない場合、ユニット損傷のおそれがあります。

1-1-2. 室外ユニット



1-1-3. リモコン(別売品)



MAスマートリモコン

※操作方法は、MAスマートリモコン取扱説明書を参照してください。



ワイヤレスリモコン

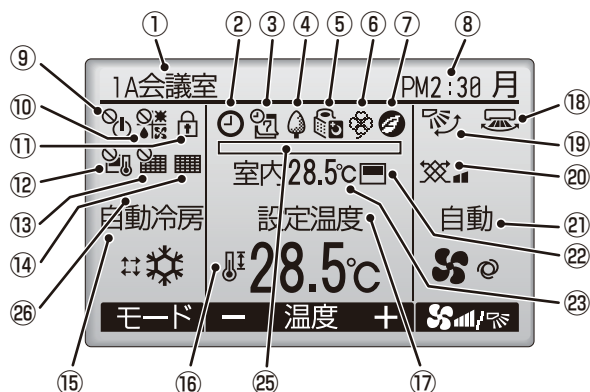
※操作方法は、ワイヤレスリモコン取扱説明書を参照してください。

[1] MAスマートリモコン

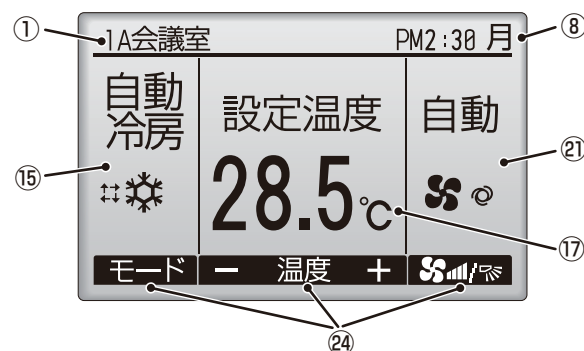
操作部、表示部はMAスマートリモコンを記載しています。(説明のためすべての表示内容を示しています。)メイン画面の表示には「詳細」と「簡易」と「日英併記」の3種類があります。初期設定は詳細表示となっています。

(1) 表示部

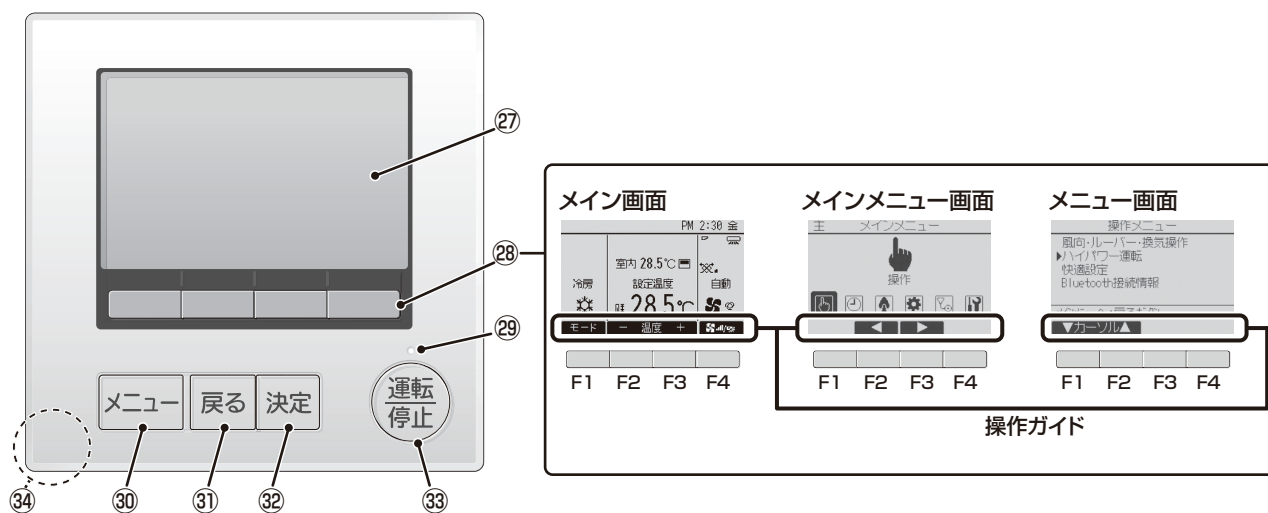
詳細画面(メイン画面)



簡易画面(メイン画面)














(2) 操作部



番号	表示/名称	説明
①	リモコン名	リモコンの名前を表示します。
②		オン/オフタイマならびに消し忘れ防止タイマ設定が有効のときに表示します。
③		週間スケジュールタイマ設定が有効のときに表示します。
④		省エネ制御中に表示します。
⑤		室外サイレントモード制御中に表示します。
⑥		パワーシェア運転有効中に表示します。
⑦	AI	ムーブアイ mirA.I. 有効中に表示します。
※1		ムーブアイ省エネ運転中に表示します。
⑧	時刻	現在の時刻を表示します。
⑨		発停操作が集中管理中のときに表示します。
⑩		運転モード操作が集中管理中のときに表示します。

1. 各部の名称

番号	表示/名称	説明
①		操作ロック設定が有効のときに表示します。
②		設定温度操作が集中管理中のときに表示します。
③		フィルタクリーニングサインのリセット操作が集中管理中のときに表示します。
④		フィルタのお手入れ時期になると表示します。
⑤	運転モード	運転中の状態を表示します。
⑥		設定温度範囲制限設定が有効のときに表示します。
⑦	設定温度	設定温度を表示します。
⑧		設定したルーバ/左右方向の状態を表示します。
⑨		設定した風向の状態を表示します。
⑩		設定した換気の状態を表示します。
⑪	風速	設定した風速の状態を表示します。
⑫		室内温度を検知するセンサ位置がリモコンのときに表示します。室内ユニットのときは  を表示します。
⑬	室内温度	現在の室内温度を表示します。
⑭	ファンクション ボタン操作ガイド	ファンクションボタンの機能名を表示します。
⑮	 急速換気中	換気扇連携中に換気扇の運転が「急速」の場合に表示します。
⑯	空清	ヘルスエアー機能搭載クリーンユニットを接続した場合に表示します。
⑰	液晶表示部 (バックライト付)	運転内容を表示します。 バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。 一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。 バックライトの点灯時間は画面により異なります。
⑱	ファンクション ボタン	ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。 液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。
	[F1] ボタン	メイン画面：運転モードを切替えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	[F2] ボタン	メイン画面：設定温度を下げます。 メインメニュー画面：カーソルが左に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	[F3] ボタン	メイン画面：設定温度を上げます。 メインメニュー画面：カーソルが右に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
⑲	運転ランプ	運転中、緑色に点灯します。立上げ時、異常時は点滅します。
⑳	[メニュー] ボタン	メインメニューを表示します。
㉑	[戻る] ボタン	前の画面に戻ります。
㉒	[決定] ボタン	設定の決定をします。
㉓	[運転/停止] ボタン	1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。
㉔		室温センサ内蔵位置

※1 ムーブアイ mirA.I. 有効中かつムーブアイ省エネ運転中の場合は、ムーブアイ mirA.I. 有効中のアイコンを表示します。

お知らせ

- ・ バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。([**運転**／**停止**]) ボタンは除く)
- ・ 基本運転(運転／停止、運転モード切替、風量調節、温度設定) 以外はメニュー画面からの設定となります。
- ・ 使用する場合は、リモコンに同梱されている取扱説明書を参照してください。

お願い

- ・ 以下の場所では、リモコンを使用しないでください。
 - ・ 付近の温度が40℃以上または0℃以下になる場所
 - ・ 直射日光が当たる場所
 - ・ 湯・油・蒸気が発散する場所

2. 別売部品

パッケージエアコンには、多様な使い方に対応していただけるように、専用の別売部品を用意しています。詳細はお買上げの販売店にお問い合わせください。

3. ご使用前に

- ・ お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- ・ 本製品の据付工事は、販売店(工事店)が関連法規・資格に基づき実施しております。
- ・ 据付工事完了後、「8. 据付工事の確認と試運転(47ページ)」の事項をお客様ご自身でご確認ください。
- ・ 販売店(工事店)が試運転を行う際、立ち会ってください。
- ・ 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店(工事店)から説明を受けてください。

3-1. 使用上のお願い

警告

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- ・ 体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

冷やし過ぎないこと。

- ・ 体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

“ミスタースリム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境を作ってください。

1) 室内温度(室温)は最適にしてください。

- ・ 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- ・ 冷やし過ぎは電力のムダ使いにもなります。
たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

**2) 冷房時は熱の侵入を少なくしてください。**

- ・ 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしてください。
- ・ 出入口は必要なとき以外は開けないようにしてください。



3. ご使用の前に

3) 室内ユニットの吹出し風を長時間直接肌に当てないでください。

- ・特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。室内ユニットの風を直接肌に当てないでください。



4) フィルタの清掃をしてください。

- ・フィルタの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力を低下させます。電力のムダ使いとなります。また露付き・露垂れの原因にもなります。
 - ・ワイヤードリモコンはフィルタサイン付きです。
- ※ フィルタの清掃は専門の業者に依頼してください。



5) 中間期にはドライ運転をしてください。

- ・ムシムシすると感じる時は、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
- ・ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じる時があります。ドライ運転を利用してください。



6) 室内の温度ムラ解消に風向調節をしてください。

- ・冷房時、冷たい空気は重いので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- ・暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気が重いので床の近くにたまるからです。下吹出しなど風向を調節してください。



7) ときどき換気をしてください。

- ・長時間、閉め切った室内では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- ・送風運転は、室内の空気を循環させるはたらきをします。
- ・冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。



3-2. 各種運転について

(1) ドライ運転とは

- ・室温が下がるのを抑えながら、湿気を取り除く運転をします。

(2) 暖房運転について

- ・暖房開始時に風が弱い：吹出し空気が一定の温度に達するまでは、吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切り替わります。その間ワイヤードリモコンには“暖房準備中”と表示されます。(ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯が点灯します。)
- ・風速が設定どおりにならない：室温が設定温度になると、風速は微風となります。
- ・風が出ない：ワイヤードリモコンに“霜取中”表示中は風を出しません。(ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯が点灯します。)
- ・運転を停止しても風が出る：運転停止後最大約1分間、室内ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわることがあります。

(3) 風向について

- ・ 2方向カセット形 (PL-RP・LA形) の出荷時設定は風向角度水平 30° です。風向設定を水平 0° (冷風防止ベーン設定) に変更して冷房・ドライ運転を長時間続けると、天井内の環境により天井ボード裏が結露する場合があります。天井ボードに断熱材を追加するなどの対策を検討してください。

(4) 換気連動運転とは

- ・ 室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

(5) 霜取運転とは

- ・ 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転をしています。霜取運転中はリモコンに「霜取中」を表示します。霜取運転は約 10 分程度 (最大 15 分) で終わります。
- ・ 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

(6) 暖房プレヒートとは

- ・ 霜取運転中の室内温度低下を抑えるため、霜取運転を行う直前に強めの暖房を行い、室温を上げる運転をします。
- ・ 外気温度、霜の付き具合、霜取直前の運転状態によっては効果を得られない場合があります。

(7) 運転停止後の霜取りについて

- ・ 暖房運転停止後、霜取運転をします。運転停止後に霜を溶かすことで、次回起動時の立ち上がり時間が早くなります。 ※ リモコンに霜取中の表示はされません。

(8) 室外サイレントモードとは

- ・ 室外ユニットの音が気になるとき、能力をセーブし、静音性を優先した運転をします。

(9) 省エネ運転とは

- ・ 消費電力を制限するデマンド制御をします。

(10) パワーシェア運転とは

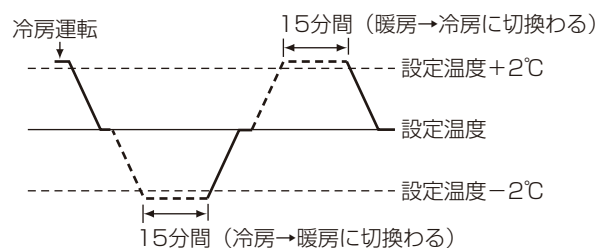
- ・ この機能有効時は各冷媒系統が協調して運転することで全体の電力が最小になるように圧縮機を制御します。この機能は 2～4 冷媒系統が 1 グループの場合に設定できる機能になります。5 冷媒系統以上が接続される場合は設定できません。設定方法は MA スマートリモコン取扱説明書を参照してください。

(11) スマートデフロスト運転とは

- ・ 各冷媒系統が同時に霜取運転にならないように協調します。ただし、条件によっては同時に霜取運転する場合があります。この機能は 2～4 冷媒系統が 1 グループの場合に働く機能になります。5 冷媒系統以上が接続される場合は設定できません。

(12) 自動運転とは

- ・ 設定温度より室温が高いときは冷房運転を開始し、室温が低いときは暖房運転を開始します。
- ・ 自動運転中に室温が変化し設定温度より 2℃ 以上高くなり、その状態が 15 分続くと冷房運転に切り替わります。また、2℃ 以上低くなり、その状態が 15 分続くと暖房運転に切り替わります。



(13) 消費電力表示、CO₂ 排出量表示について

- ・ 運転中に消費した電力量、または CO₂ 排出量を MA スマートリモコンに表示することができます。詳細は MA スマートリモコンの取扱説明書を参照してください。

(14) ムーブアイとは

1) 人感ムーブアイ (スリムZR・ズバ暖スリムシリーズ 対象機種：PL-RP40～160LA形)

省エネ自動モード

- 「人感ムーブアイ」が人の位置を検知すると、人のいるエリアを中心に体感温度制御を行い、人に快適でムダのない運転をします。

快適自動モード

- 「人感ムーブアイ」が人の位置を検知すると、人のいるエリアの風向を設定に応じて自動的に調整します。
- 「風よけ」「風あて」を全吹出口へのカンタン設定（一括）と、吹出口ごとに詳細設定（個別）でき、一人一人に快適な風を届けます。風向自動モードに設定する必要があります。

お知らせ

- 「風よけ」でも風があたる場合や、「風あて」でも風があたらない場合があります。
- 「風よけ」設定した場合、吹出した空気により天井が汚れる場合があります。

エリアムーブアイ (ムラ無)

- 床面の暑いエリア、寒いエリアを見つけ出し、風向を自動調整します。窓側や壁側など、エリアごとの温度ムラを解消します。

お知らせ

- 2方向カセット形 (PL-RP40～160LA形) のリモコンを主リモコンとしたときのみ設定できます。

在人率省エネモード

- 「人感ムーブアイ」が検知した室内にいる現在の人数と過去の最大人数から在室率を算出し、在室率に応じて、最大1℃分の能力をセーブした省エネ運転をします。

不在省エネモード

- 60分以上室内にいない場合、空調運転を自動的に2℃分の能力をセーブした省エネ運転をします。人が戻れば通常の運転に戻ります。

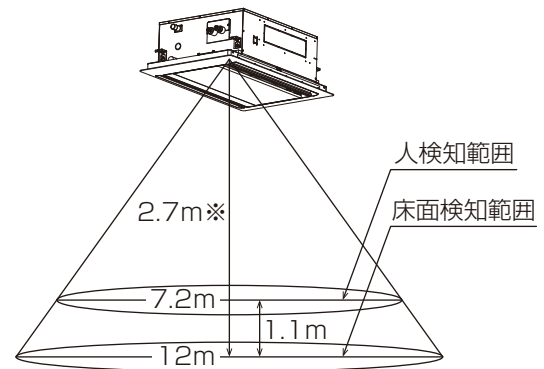
不在停止モード

- あらかじめ設定した時間以上室内に人がいない場合、自動的に運転を停止します。

人感ムーブアイの検知範囲について

検知範囲

	2方向天井カセット形
床の温度 (天井高さ2.7mの場合)	直径12m
人の温度 (床面からの高さ1.1mの場合)	直径7.2m



※3.5m以上では人を検知しにくくなる場合があります。

お知らせ

- 次のような場合には人を検知しにくくなる場合があります。
 - 真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が少ない場合
 - 厚着をして肌が表れていない場合
 - 間に棚などの障害物がある場合
 - 検知範囲内にいない場合
 - 温度変化が大きい発熱体がある場合

2) エリアムーブアイ (スリムERシリーズ 対象機種：PL-RP40～160LA形)

人感ムーブアイのエリアムーブアイと同様の運転をします。

風向自動モードに設定する必要があります。

(15) 先読み運転とは

先読み運転は、スリムZR・ズバ暖スリム室外ユニットの機能です。

室内ユニットがPL-RP40～160LA形で、かつムーブアイセンサパネル接続時はムーブアイ mirA.I.として機能します。

- PL-RP40～160LA形以外の室内ユニットや、PL-RP40～160LA形でムーブアイセンサパネル接続ではない場合、運転データから推定した空調負荷と、外気温・室温から簡易的に建物性能^{※1}を学習し、先読み運転を行います。

※1 室温に影響する性能(断熱性、気密性、広さを総合的に判断)を指します。

お知らせ

- 次のような場合には先読み運転ができない場合があります。
 - 開放空間など安定運転できない環境で使用する場合
 - 機器に異常がある場合など、正常な運転ができない場合
 - 送風、ドライ運転の場合

(16) ムーブアイ mirA.I.とは

AI^{※1}が運転データから推定した体感温度変化と、外気温・室温・ふく射温度から建物性能^{※2}とふく射温度の影響を分析・学習し、少し先の空調負荷を予測。予測結果をもとに運転の強さを自動でコントロールする先読み運転を行います。

※1 建物性能・ふく射温度の影響に基づく体感温度変化を予測する技術を「AI」と定義しています。

※2 室温に影響する性能(断熱性、気密性、広さを総合的に判断)を指します。

(17) AI自動とは

スリムZR・ズバ暖スリムと室外ユニットとPL-RP40～160LA形の組合せ、かつムーブアイセンサパネル接続時にAI自動モードを選択できます。温度ムラがあるときはエリアごとの温度ムラを解消し、温度ムラがないときは人のいるエリアを中心に体感温度制御を行うことで、ムラのない効率的な運転を行います。

お知らせ

- AI自動モードは冷房・暖房の自動切替えを含みません。冷房・暖房の切替えを自動で行いたい場合は運転モードを自動にしてください。
- 機能選択でムーブアイ mirA.I.を無効に設定した場合は、本機能も無効になります。

(18) ダクト用換気扇連携とは

- 当社CO₂センサ搭載ダクト用換気扇「機器連携タイプ」と接続することで室温低下抑制運転とリモコン表示をすることができます。
- 機能選択でモード番号51の設定番号を2に設定した場合には下記の①、②の両方が行われ、設定番号を3に設定した場合には②のみ行われます。

詳細な接続方法、設定方法は室内ユニットの据付工事説明書とダクト用換気扇の取扱説明書・据付説明書を参照してください。

① 室温低下抑制運転

暖房運転中に換気扇の運転が「急速」の場合に、室温の低下を抑制するように運転します。

② リモコン表示

換気扇の検知CO₂濃度が設定値を超えたり、手動で運転モードを切り換えたりして換気扇の運転が「急速」になっている場合に、MAスマートリモコン(PAR-44MA以降)に「CO₂ 急速換気中」と表示します。

(19) 内部クリーン運転とは

- 冷房運転又はドライ運転の後に、送風による乾燥運転を行います。
- 内部クリーン運転の設定方法については、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。
- 内部クリーン運転中は、風速は微風、上下風向は設定1になります。送風時間は、室内ユニット形態により異なります。
- 下記のように、内部クリーン運転中であることをお知らせします。
 - ・ MA スマートリモコンの場合：画面上に「内部クリーン中」と表示します。
 - ・ ワイヤレスリモコンの場合：受光部付近の表示灯<橙>が約5秒間隔で点滅します。



- 内部クリーン運転の中断のしかたは下記のとおりです。内部クリーン運転の設定は解除されません。
※中断した場合はユニット内部が乾燥しません。
 - ・ MA スマートリモコンの場合：F1 ボタンを押してください。
 - ・ ワイヤレスリモコンの場合：運転/停止ボタンを一度押し、リモコン画面が表示されたら、もう一度運転/停止ボタンを押してください。
- 内部クリーン運転を実施することで、室内の湿度が上昇する場合があります。

4. 使用方法

4-1. 運転方法

警告

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手
禁止

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

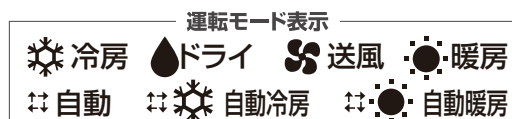
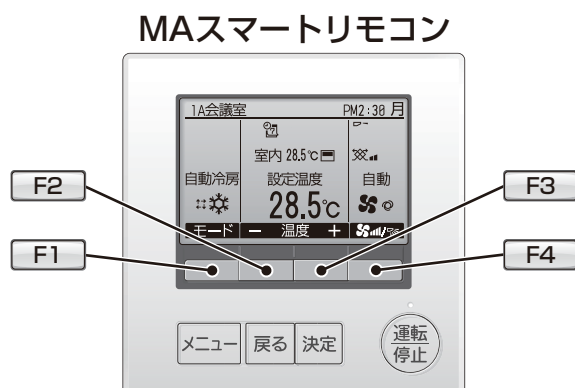


指示を
実行

お願い

- 電源が入っているか確認してください。
- 停電や電気工事、また外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転を待ってください。
- ユニット運転期間中は電源を切らないでください。故障のおそれがあります。

4-2. 運転モードの切替、室温・風速・風向調節



4-2-1. 運転の開始、運転モードを選ぶとき

手順

- ボタンを押す。
運転ランプと表示が点灯します。
- ボタンを押す。
・1回押すごとに設定が切り替わります。



※1 冷房専用設定とした場合は、自動と暖房の表示はされません。設定もできません。

※2 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。

4-2-2. 設定温度を変えたいとき

1) 室温を下げたいとき

手順

1. **F2** ボタンを押す。

2) 室温を上げたいとき

手順

1. **F3** ボタンを押す。

- 1回押すごとに設定温度を0.5℃変えられます。
- 温度設定範囲は次のとおりです。*1

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19～30℃	17～28℃ *2	19～28℃	設定できません

*1 設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。範囲を超えて設定しようとした場合、“設定温度制限中”が点滅表示され、制限中であることが表示されます。詳しくは、リモコンの取扱説明書を参照してください。

*2 ズバ暖スリム室外ユニット組合せ時は、10℃の設定ができます。組合せ機器に制約がありますので、詳細についてはカタログなどを確認してください。

4-2-3. 運転を停止するとき

⚠ 注意

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- 運転停止から5分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

手順

1.  ボタンを押す。

1) 再運転時の動作内容

MAスマートリモコンで再運転した場合は、下表の内容で動作します。

(ワイヤレスリモコンでの再運転は、リモコンの設定されている内容にしたがいます。)

		MAスマートリモコンで再運転した場合の動作内容	
運転モード		前回の運転モード	
設定温度		前回の設定温度	
風速		前回の設定風速	
上下風向	運転モード	冷房・ドライ	水平吹出し*
		暖房	前回の設定風向
		送風・換気	水平吹出し*

* 機種により、前回の設定風向となる場合があります。

4-2-4. 風速を変えたいとき

手順

1. **F4** ボタンを押す。
 - ・ 1 回押すごとに設定が切り替わります。

風速	設定の切替わり
4 速 (自動可)	
3 速 (自動可)	
3 速	
2 速	
1 速	

お知らせ

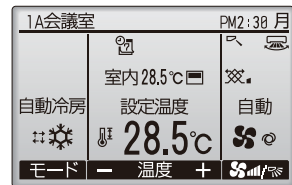
- ・ 機種により設定できる風速が異なります。(詳しくは「1-1-1. 室内ユニット」(8ページ)を参照してください)
- ・ 以下のようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
 - ・ “暖房準備中”・“暖房霜取中”表示のとき
 - ・ 暖房モードで外気温度が高いとき
 - ・ 冷房運転直後
 - ・ ドライモードのとき
 - ・ 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
 - ・ 暖房運転直後(モード切替待機中)
 - ・ 冷房運転中(室温が設定温度に近いとき)
 - ・ 内部クリーン運転のとき
- ・ 風速自動設定時は、室内温度が設定温度に近づくと静音性を優先し風速を下げます。能力不足や温度ムラを感じた場合は風速を強などに変更してください。

(1) 静音自動モード

PL-RP40～160LA形、PD-RP40～160GA形、PE-RP50～160DA形には静音自動モードがあります。風速自動設定時、静音性を優先した運転をします。静音自動モード中は低騒音優先のため、能力がセーブされます。能力不足を感じた場合は風速自動静音設定を「通常」にしてください。

手順

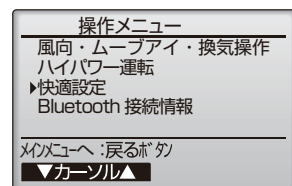
1. **メニュー** ボタンを押す。



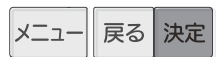
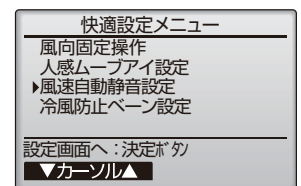
2. **F2**、**F3** ボタンで「操作」を選択し **決定** ボタンを押す。



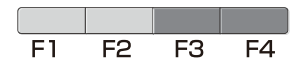
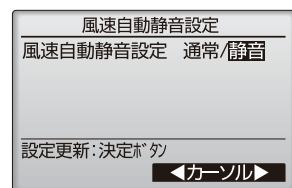
3. **F1**、**F2** ボタンで「快適設定」を選択し **決定** ボタンを押す。



4. **F1**、**F2** ボタンで「風速自動静音設定」を選択し **決定** ボタンを押す。



5. **F3**、**F4** ボタンで「静音」を選択し **決定** ボタンを押す。



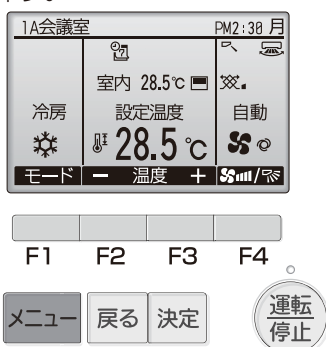
※ 室外ユニットタイプにより、設定できない場合があります。

4-2-5. 上下風向を変えたいとき

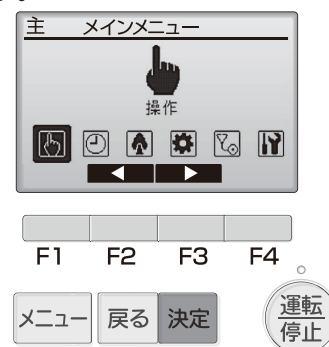
メイン画面で **F4** ボタンの長押し (1 秒以上) 操作、または本操作により風向操作画面を表示させ風向を設定します。

手順

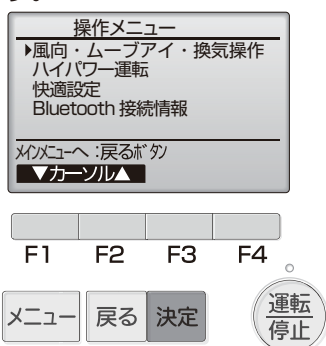
1. **メニュー** ボタンを押す。



2. **決定** ボタンを押す。



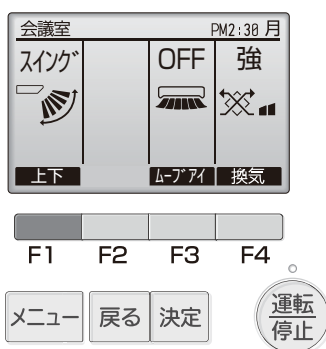
3. **決定** ボタンを押す。



4. **F1**、**F2** ボタンを押す。

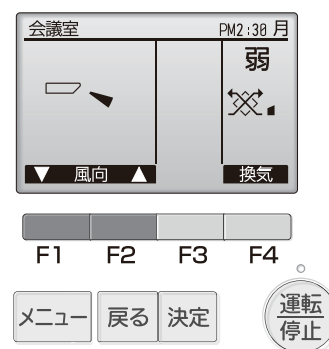
人感ムーブアイ対応の場合

上下風向 **F1** ボタンを押す。

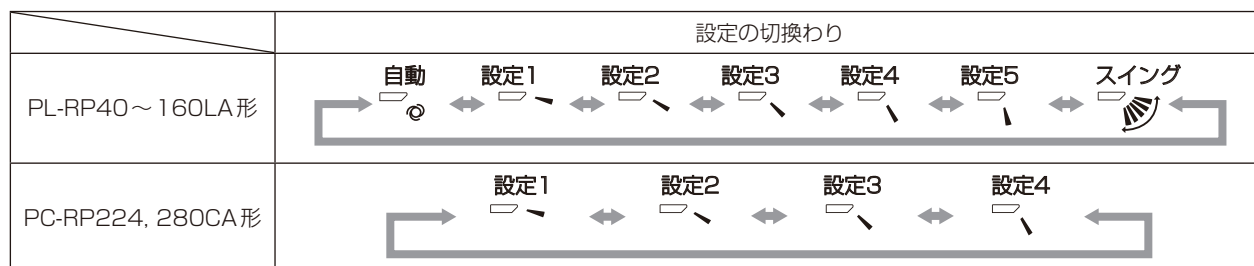


人感ムーブアイ非対応の場合

上下風向 **F1**、**F2** ボタンを押す。



1 回押すごとに設定が切り替わります。



※1 角度は風向の目安です。(ペーン角度ではありません)

(1) 上下風向ベーンの開閉・設定内容

運転モード	設定					
	暖房・送風	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4
冷房・ドライ	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4	(設定5)
運転モードを変更したときの上下風向設定	—	冷房・ドライ・送風運転	—	—	暖房運転	

※ ベーンを手で絶対に動かさないでください。露垂れ・ベーン故障の原因になります。

運転モード変更時のマイコン自動設定

(スイング設定のときは継続します)

- ・ 冷房・送風・ドライモードにしたとき…設定1
- ・ 暖房モードにしたとき……………設定4 (設定5が存在するユニットは設定5になります)

[PL-RP40～160LA形の場合]

標準パネル	冷房・送風・ドライは設定1、暖房は設定5になります。
ムーブアイセンサパネル 接続室外ユニット： スリムERの場合	<p>エリアムーブアイ(ムラ無)になります。エリアムーブアイは各吹出口のエリアごとに体感温度を演算し、風向を次のように制御します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>暖房時 エリアの温度差があるときは下図のようになります。温度差が小さくなるとすべて下吹き(設定5)になります。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>冷房時 エリアの温度差があるときは下図のようになります。温度差が小さくなるとすべて水平(設定1)になります。</p> </div> </div>
ムーブアイセンサパネル 接続室外ユニット： スリムZR、ズバ暖スリムの場合	<p>人感風向設定に従って、自動時の風向が次のようになります。設定方法は「4-8.[3] 人感風向設定のしかた(詳細設定)」(35ページ)を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネ自動モード設定の場合：冷房・送風・ドライは設定1、暖房は設定5になります。(標準パネルと同じ) ・ 快適自動モード風よけ設定の場合：人を検知すると、暖房は設定5→設定1に変化します。冷房・ドライ・送風時は設定1のままです。 ・ 快適自動モード風あて設定の場合：人を検知すると、冷房・ドライは設定1→スイング、送風は設定5に変化します。暖房は設定5のままです。 <p>※ 場所によっては「風よけ」でも風が当たる場合や、「風あて」でも風が当たらない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エリアムーブアイ(ムラ無)の場合：エリアムーブアイになります。(同上)

[PC-RP224,280BA形の場合]

手動操作となります。



お手入れのときは不安定な台に乗らないこと。

- ・ 落下・転倒し、けがのおそれあり。



- ・ 運転を停止し、風向きルーバをお好みの向きに調節してください。

[PD-RP40～160GA形の場合]

別売吹出口ユニットの風向調節範囲は次のとおりです。

吹出口ユニット水平取付時：設定1～設定5（水平0°～45°）

吹出口ユニット垂直取付時：設定1～設定5（水平45°～90°）

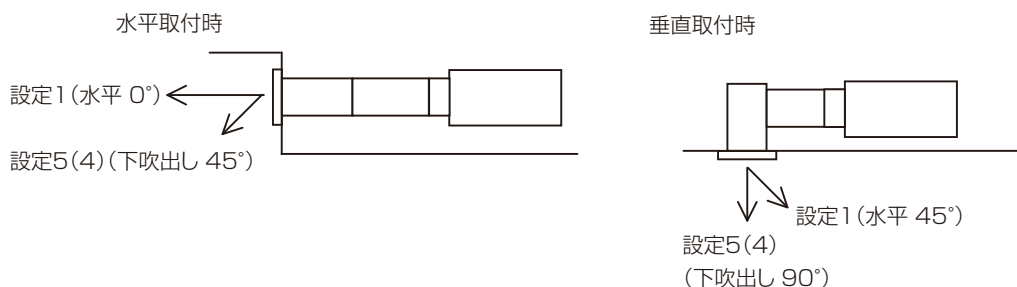
※ ワイヤレスリモコン操作時は設定1～設定4までです。（風向調節範囲は変わりません。）

※ スイング動作できません。

※ 強風以外の風速時に水平吹出し以外の風向で1時間経過すると自動的に水平吹出しにもどります。

※ 運転モード変更時のマイコン自動設定

- ・ 冷房・送風・ドライ・換気モードにしたとき・・・水平吹出し
- ・ 暖房モードにしたとき……………下吹出し

**お知らせ**

- ・ 以下のようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
 - ・ “暖房準備中”・“暖房霜取中”表示のとき
 - ・ 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
 - ・ 暖房運転直後（モード切替待機中）

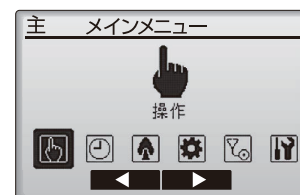
4-2-6. 上下風向の固定設定方法

（MAスマートリモコン、ワイヤレスリモコン（PAR-SC4UA）から設定できます。）

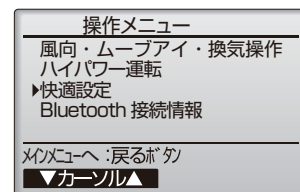
PL-RP・LA形の場合、下記の設定で、特定の吹出口のみ、特定の風向角度に固定することができます。一度下記の設定を行えば、以後ユニットを運転した際も設定が継続されます。（その他の吹出口の風向は、リモコンの風向操作画面の設定にしたがいます。）

(1) 設定のしかた**手順**

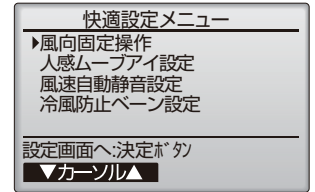
1. ユニットの停止させる。
2. メインメニュー画面で「操作」を選択し **決定** ボタンを押す。



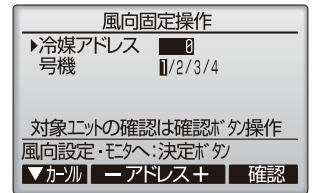
3. 操作メニュー画面から **F1**、**F2** ボタンにより「快適設定」を選択し **決定** ボタンを押す。



4. 快適設定メニュー画面から **F1**、**F2** ボタンにより「風向固定操作」を選択し **決定** ボタンを押す。



5. **F1** ボタンで設定したいユニットの「冷媒アドレス」、「号機」を選択する。
F2、**F3** ボタンにより設定する「冷媒アドレス」「号機」を選択し、**決定** ボタンを押す。



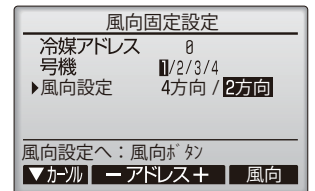
- ・ 冷媒アドレス：0～15
- ・ 号機：1/2/3/4

※ 接続されている冷媒アドレス、号機のみ選択できます。

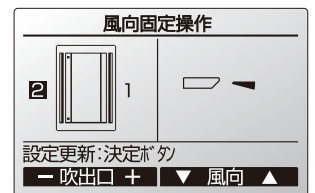
お知らせ

- ・ 設定ユニットを確認したい場合、上記の**手順5.**で「冷媒アドレス」と「号機」を選択し **F4** ボタンを押すことで、対象室内ユニットのベーンのみ下吹きになります。

6. **F1** ボタンで「風向設定」を選択する。
F2、**F3** ボタンにより「2方向」を選択し、**F4** ボタンを押す。
現在の設定内容が表示されます。



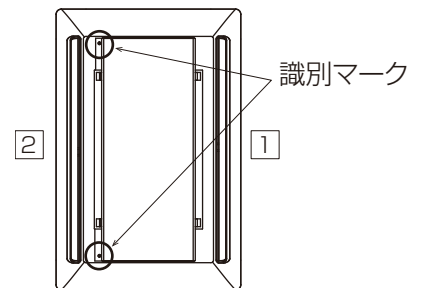
7. **F1**、**F2** ボタンで固定したい「吹出口」を選択する。
・ 吹出口：1、2、すべて（1、2すべて反転表示）
選択した「吹出口」の現在の固定設定状態が下図のように表示されます。



8. **F3**、**F4** ボタンで設定したい「風向」を選択し、**決定** ボタンを押す。
設定中画面が表示されます。

お知らせ

- ・ 吹出口の識別方法は、吸込口の識別マークの有無で識別してください。
- ・ 選択している「吹出口」に対して設定をします。
各吹出口を別々の風向で設定したい場合は、吹出口ごとに設定をしてください。



9. **手順7.～8.**を参考に各「吹出口」の風向固定設定を実施する。

10. 他の室内ユニットの設定を行いたい場合は、**手順6.**の画面で **戻る** ボタンを押して**手順5.**の画面に戻し、**手順5.～手順8.**を参考に各室内ユニットの風向固定設定を実施する。

手順5.で **戻る** ボタンを押して快適設定メニュー画面に戻ります。

メニュー ボタンを押すとメンテナンス終了処理を実施（約30秒）後、メインメニューに戻ります。

【固定内容のクリア方法】

上記の**手順7.**の操作でクリアしたい「吹出口」を選択して、風向設定で「設定無し」を設定してください。

4-2-7. 冷風防止ベーン設定方法 (MA スマートリモコンからのみ設定ができます)

PL-RP40～160LA形の場合、下記の設定でベーン設定角度を標準位置よりも高めに設定し、水平吹出しによる冷房時のドラフト感を抑えることができます。冷風防止ベーン設定は、PL-RP40～160LA形のみ設定できます。

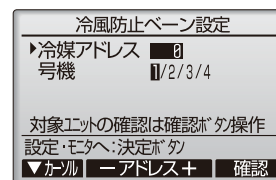
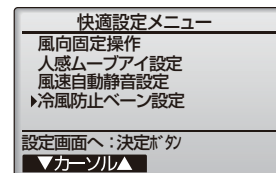
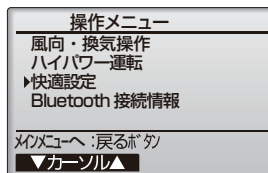
お知らせ

- 冷風防止ベーン設定をした場合、冷房・ドライ運転を長時間続けると、天井内の環境によっては天井ボード裏が結露する場合があります。天井ボードに断熱材を追加するなどの対策を検討してください。また吹き出した空気により天井が汚れる場合があります。

(1) 設定の手順

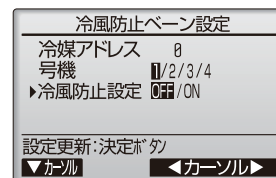
手順

1. ユニットを『停止』にする。
2. メインメニュー画面で「操作」を選択し **決定** ボタンを押す。
3. 操作メニュー画面で「快適設定」を選択し **決定** ボタンを押す。
4. 快適設定メニュー画面から **F1** ボタン②, **F2** ボタン③により「冷風防止ベーン設定」を選択し **決定** ボタンを押す。
5. **F1** ボタン②で「冷媒アドレス」「号機」を選択する。
F2 ボタン③, **F3** ボタン④により設定する「冷媒アドレス」「号機」を選択し **決定** ボタンを押す。
 - 冷媒アドレス：0～15
 - 号機：1 / 2 / 3 / 4
 - ※ 接続されている冷媒アドレス、号機のみ選択できます。



手順5. で指定した室内ユニットの現在の設定内容が表示されます。

- 冷風防止設定：OFF (標準設定) / ON (冷風防止設定)

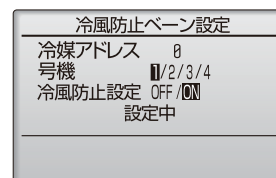


メモ

- 設定ユニットを確認したい場合、上記の手順で「冷媒アドレス」と「号機」を選択し **F4** ボタン⑤を操作することで、対象室内ユニットのベーンのみ下吹きになります。詳細は「(2) 対象ユニット確認の手順」を参照してください。
6. **F2** ボタン③, **F3** ボタン④により「冷風防止設定」を設定し **決定** ボタンを押す。

お知らせ

- 他の室内ユニットの設定を行いたい場合は、**戻る** ボタンを押して手順5. の画面まで戻し、手順5.～手順6. を参考に各室内ユニットの風向固定設定を実施してください。
7. 手順5. で **戻る** ボタンを押して快適設定メニュー画面に戻る。
 8. **メニュー** ボタンを押す。
メンテナンス終了処理を実施 (約45秒) 後、操作メニューに戻ります。



(2) 対象ユニット確認の手順

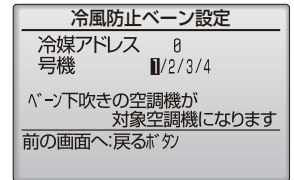
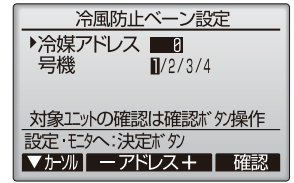
1) 最初に「冷媒アドレス」= 0, 「号機」= 1 から確認します。

手順

1. **F1** ボタン②で「冷媒アドレス」, 「号機」を選択する。
2. **F2** ボタン③, **F3** ボタン④により確認する「冷媒アドレス」「号機」を設定する。
3. **F4** ボタン⑤を押す。
 - ・ 冷媒アドレス：0～15
 - ・ 号機：1／2／3／4

※ 接続されている冷媒アドレス, 号機のみ選択できます。

F4 ボタン⑤操作後、約 15 秒待ってください。……ユニットの状態は？
 →吹き出し口が下吹きになる。→「冷媒アドレス」= 0, 「号機」= 1 のユニットです。
 →すべての吹出口が塞がる。→2) 項の手順へ
4. **戻る** ボタンを押して、手順 1. の画面に戻す。



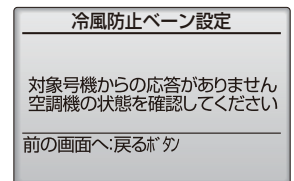
2) 「号機」を順次変更して確認します。

手順

1. **F1** ボタン②で「号機」を選択する。
2. **F2** ボタン③, **F3** ボタン④により確認する「号機」を変更し **F4** ボタン⑤を押す。

F4 ボタン⑤操作後、約 15 秒待ってください。……ユニットの状態は？
 →吹出口が下吹きになる。→リモコンに表示されているユニットです。
 →すべての吹出口が塞がる。→**戻る** ボタンを押して、手順 1. からの操作を続けます。
 →右記、メッセージ画面が表示される。→この冷媒アドレスの中に、対象号機が存在しません。→3) 項の手順へ
3. **戻る** ボタンを押して、1) 項の手順 1. の画面に戻す。

メッセージ画面



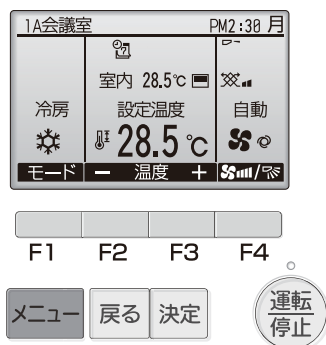
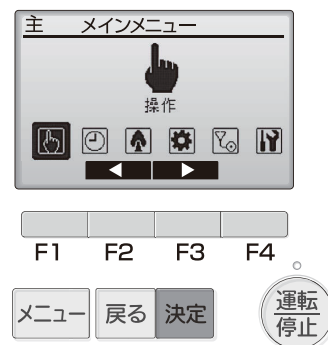
3) 「冷媒アドレス」を次の番号に変更して確認します。

手順

1. 1) 項の手順を参考に冷媒アドレスを変更して確認を続ける。

4-2-8. ハイパワー運転を行うとき

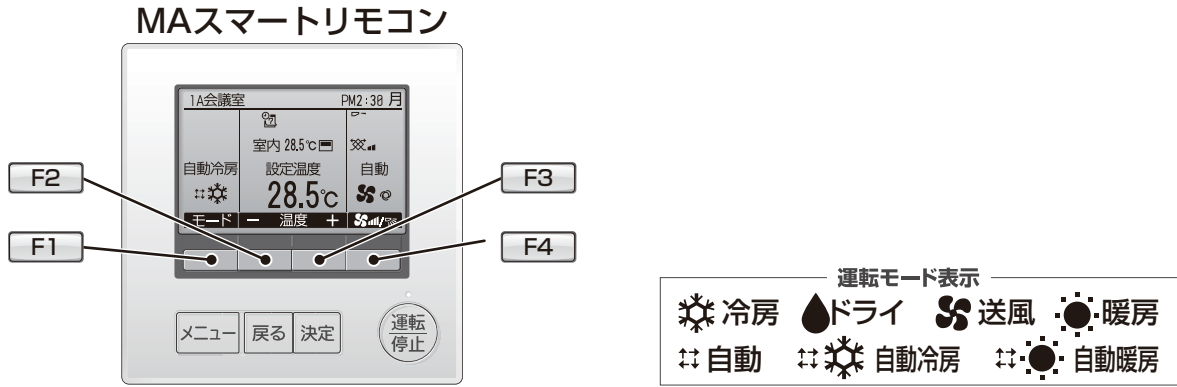
手順

1. **メニュー** ボタンを押す。2. **決定** ボタンを押す。3. **F1** ボタンを押す。**決定** ボタンを押す。4. **F4** ボタンを押す。**決定** ボタンを押す。

お知らせ

- 運転能力を上げて、すばやく快適な室温に近づけます。
- ハイパワー運転は最大30分間運転し、自動で通常運転に戻ります。
- 運転モード切替、風速切替を行ったときも、通常運転に戻ります。
- 室外ユニットおよび室内ユニットの騒音が大きくなる場合があります。
- 室外ユニットタイプによりハイパワー運転できない場合があります。

4-3. 自動運転、換気運転のしかた



4-3-1. 自動運転を行うとき

手順

1. ボタンを押す。
2. ボタンを押して表示を「自動」にする。

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。
(15ページ参照)

※ 運転モードが確定した後に、現在の運転モード [自動冷房]、[自動暖房] が表示されます。
 なお、リモコンの初期設定で、「自動冷暖表示：しない」に設定変更されている場合には、「冷房」、「暖房」は表示されません。(「自動」の表示のみ)
 (リモコンの初期設定については、リモコンの据付工事説明書(設定編)を参照してください。)

4-3-2. 換気運転を行うとき

1) 室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき

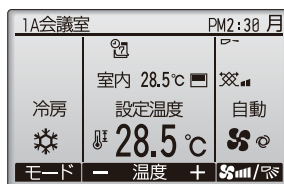
手順

1. ボタンを押す。
 - ・ 室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。

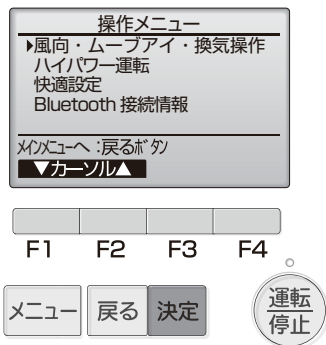
2) 換気装置を単独で運転するとき

手順

1. ボタンを押す。
2. ボタンを押す。



3. **決定** ボタンを押す。
(「風向・ムーブアイ・換気操作」を選択している状態で)



4. **F4** ボタンを押す。



3) 換気運転の風速を変えたいとき

手順

1. **F4** ボタンを押す。

お知らせ

- 室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

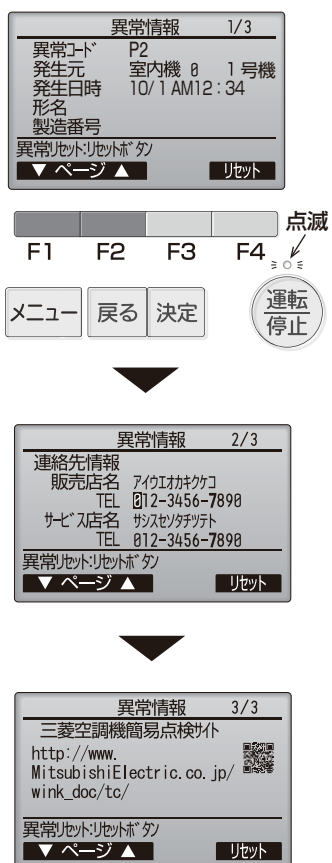
4-4. その他の表示・点滅について

(ワイヤードリモコン)

[1] 「運転ランプ」が点滅し液晶画面に異常情報が表示されている場合

ユニットに異常が発生しているため、運転を継続できずに停止しています。

異常内容を確認のうえ、ユニットの電源を切り、お買上げの販売店(工事店・サービス店)にご連絡ください。



異常コード、冷媒アドレス、形名、製造番号を表示します。
形名、製造番号はあらかじめ入力されている場合に表示します。

F1、**F2** ボタンを押すと、次のページを表示します。

連絡先情報はあらかじめ入力されている場合に表示します。

携帯電話点検コード検索サービスサイトの二次元バーコードとURLを表示します。

4-5. タイマ、スケジュール運転のしかた

MAスマートリモコンから、タイマ運転、週間スケジュール運転の設定ができます。MAスマートリモコンの[メニュー]ボタンを押してメインメニュー画面を表示し[F2]、[F3]ボタンで設定したい運転を選択します。各運転の詳細設定方法は、リモコンの取扱説明書を確認してください。



[1] タイマ運転

(1) オン／オフタイマ

運転開始時刻と停止時刻が5分単位で設定できます。

(2) 消忘れ防止タイマ

運転を開始してから停止するまでの時間を10分単位で設定できます。設定時間は30分から240分の範囲で設定できます。

[2] 週間スケジュール運転

1週間の運転開始時刻と停止時刻および設定温度を1日最大8パターン設定できます。また、週間スケジュールを2種設定できます。(例：夏用、冬用スケジュールなど)

4-6. ワイヤレスリモコンを使用する場合

ワイヤレスリモコンの操作方法については、ワイヤレスリモコンに付属の取扱説明書、および据付工事説明書を参照してください。

お願い

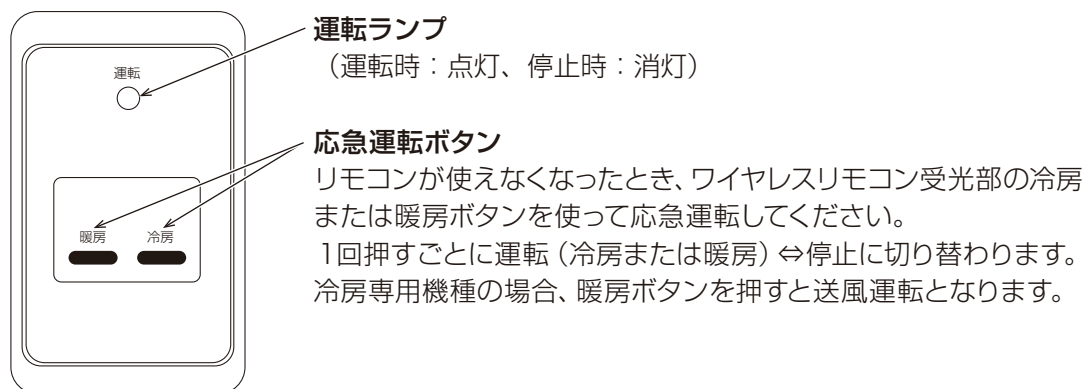
- ワイヤレスリモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。
- 電源を入れてすぐにワイヤレスリモコン操作をした場合、室内ユニットから“ピピピッ”または“ピーピーピー”と発信音がすることがあります。初期自動点検中ですので約3分待ってください。
- 受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。お買上げの販売店へ連絡してください。
- ワイヤレスリモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- 紛失防止のためにリモコンホルダ(リモコンに付属)を壁に固定し、使用後は元に戻すようにしてください。

お知らせ

- ワイヤレスリモコン送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから“ピッ”と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなる場合があります。
- 換気単独運転はできません。

4-7. 応急運転のしかた(ワイヤレスリモコンが使えないとき)

ワイヤレスリモコンの乾電池が切れたり、ワイヤレスリモコンが故障したりしたときには、ワイヤレスリモコン受光部の応急運転ボタンを使って応急運転ができます。



お知らせ

- インバータ方式の蛍光灯をつけた部屋では、信号を受けつけない場合があります。新たに蛍光灯を買われる場合は、販売店に相談してください。

※ 応急運転時の運転内容は下記になります。

ただし、最初の約30分間は温度調節が働かず連続運転になり風速は強になります。

運転モード	冷房	暖房
設定温度	24℃	24℃
風速	強	強
上下風向	設定1	設定4 ※1

※1 設定5が存在するユニットは設定5になります。

4-8. 人感ムーブアイ設定のしかた

対象機種：PL-RP40～160LA形（接続室外ユニット：スリムZR、ズバ暖スリム）
ムーブアイセンサパネル機種の場合の各種設定方法を表示します。

[1] 人感風向カンタン設定のしかた

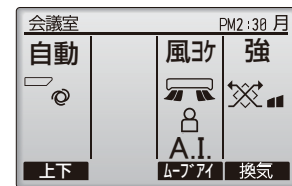
人感風向設定「風あて」「風よけ」「ムラ無」「OFF」「AI自動」を設定できます。

お知らせ

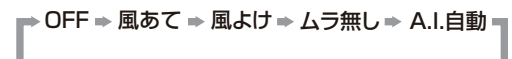
- ・本機種を同時ツイン・トリプル・フォーの構成とした場合、すべての室内ユニットが設定対象になります。
- ・「風あて」「風よけ」「ムラ無」「AI自動」の機能の詳細は、「4-2-5. 上下風向を変えたいとき(1) 上下風向ベーンの運転・設定内容(24ページ)」、「3-2. 各種運転について(14) ムーブアイとは(16ページ)」、「(17) AI自動とは(17ページ)」を参照してください。
- ・次のような場合には、人感ムーブアイが人を検知しにくいときがあり、その際は人がいてもベーンが反応しないことがあります。
 - ・真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が少ない場合
 - ・厚着をしていて肌が表れていない場合
 - ・間に棚などの障害物がある場合
 - ・検知範囲内にいない場合
 - ・温度変化が大きい発熱体がある場合
- ・「風よけ」でも風があたる場合や、「風あて」でも風があたらない場合があります。
- ・「風よけ」設定した場合、吹出した空気により天井が汚れるおそれがあります。

手順

1. 操作メニューで「風向・ムーブアイ・換気操作」選択し、**決定** ボタンを押す。



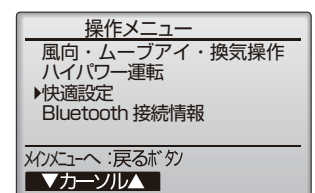
2. **F3** ボタンを押す。
 - ・1回押すごとに設定が切り替わります。
 - ・「OFF」以外を選択すると、風向設定は「自動」が設定されます。
 - ・「OFF」を選択すると、「4-2-5. 上下風向を変えたいとき [PL-RP40～160LA形の場合]の表」の「標準パネル」と同じ風向になります。



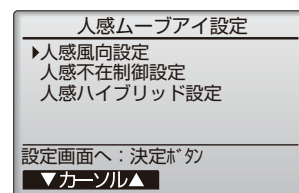
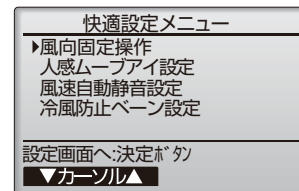
[2] 人感ムーブアイ設定画面への移動方法

手順

1. メインメニュー画面で「操作」を選択し、**決定** ボタンを押す。
2. 操作メニュー画面から **F1**、**F2** ボタンで「快適設定」を選択し、**決定** ボタンを押す。



3. **F1**、**F2** ボタンで、「人感ムーブアイ設定」を選択し、**決定** ボタンを押す。
- 接続室外ユニットがZR シリーズ、ズバ暖シリーズ以外の場合は、ムーブアイセンサパネルを取り付けていても設定できません。接続室外ユニットがER シリーズの場合は、エリアムーブアイ機能に固定となります。
4. **F1**、**F2** ボタンで設定する項目を選択し、**決定** ボタンを押す。
- 人感風向設定（詳細設定）
風向制御方法を選択します。
省エネ自動モード／快適自動モード／エリアムーブアイ（出荷時設定：省エネ自動モード）
 - 人感不在制御設定
人感ムーブアイが検知した人数に応じて、省エネ運転をします。
不在省エネモード／在室率省エネモード／不在停止モード（出荷時設定：すべてOFF）
 - 人感ハイブリッド設定
人感ハイブリッド運転の設定をします。（出荷時設定：OFF）



[3] 人感風向設定のしかた（詳細設定）

手順

- F1** ボタンで「冷媒アドレス」・「号機」を選択する。
- F2**、**F3** ボタンで人感風向制御を設定するユニットの冷媒アドレスと号機を設定し、**決定** ボタンを押す。

メモ

- 設定ユニットを確認したい場合、上記の手順で「冷媒アドレス」・「号機」を選択し、**F4** ボタンを操作することで、対象室内ユニットのベーンのみ下吹きになります。

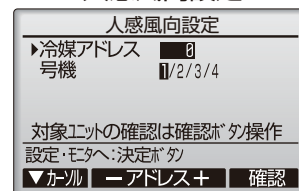
- F1** ボタンで「風向自動制御」を選択する。
- F4** ボタンで風向自動制御を設定し **決定** ボタンを押す。

各設定は下記モードに対応します。詳細は「3-2. 各種運転について（14）ムーブアイとは（16ページ）」を参照してください。

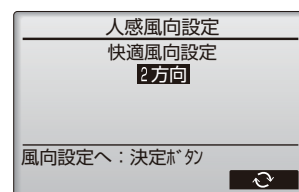
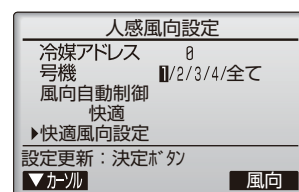
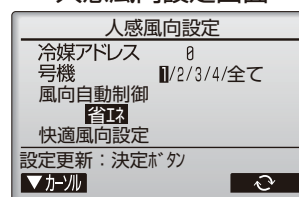
- 省エネ：省エネ自動モード
- ムラ無：エリアムーブアイ
- 快適：快適自動モード（風あて、風よけ）

- 快適自動モードを設定する場合は、快適風向設定機種を選択し、**F4** ボタンで快適風向設定画面に切り替える。
- 風向選択画面で快適風向設定機種を選択し、**決定** ボタンを押す。
 - 2方向……2方向天井カセット形

人感風向設定



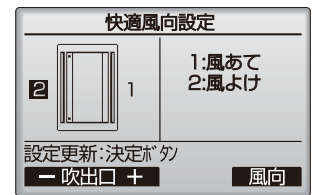
人感風向設定画面



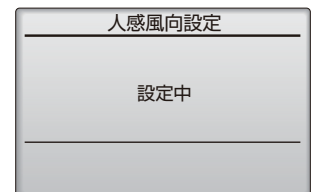
7. **F1**、**F2** ボタンで吹出口を選択してから、**F4** ボタンで風向を設定し、**決定** ボタンを押す。
画面に「設定中」が表示されます。
設定終了後、元の画面に戻ります。

メモ

- 吹出口の識別方法は、吸込口の識別マークの有無で識別してください。(26ページ参照)

快適風向設定 選択画面
("2方向"の場合)

快適風向設定 設定中画面

**お知らせ**

- 「ムラ無(エリアムーブアイ)」、「快適(快適自動モード…「風あて」「風よけ)」は風向設定を「自動」にする必要があります。
- 次のような場合には、人感ムーブアイが人を検知しにくいときがあり、その際は人がいてもベーンが反応しないことがあります。
 - 真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が少ない場合
 - 厚着をして肌が表れていない場合
 - 間に棚などの障害物がある場合
 - 検知範囲内にいない場合
 - 温度変化が大きい発熱体がある場合
- 場所によっては「風よけ」でも風があたる場合や、「風あて」でも風があたらない場合があります。
- 「風よけ」を設定した場合、吹出した空気により天井が汚れる場合があります。
- 人感風向設定は、MAスマートリモコンから「人感風向カンタン設定」、「人感風向設定(詳細設定)」、ワイヤレスリモコン(PAR-SC4UA)から操作が可能です。
上記複数の方法で設定した場合は、ワイヤレスリモコンからの設定、「人感風向設定(詳細設定)」、「人感風向カンタン設定」という優先順で設定が反映されます。

[4] 人感不在制御設定のしかた

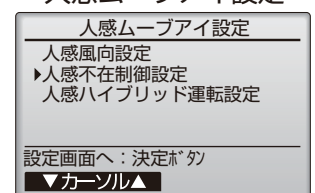
人感ムーブアイが検知した人数に応じて、下記の省エネ運転をします。詳細は「3-2. 各種運転について(14) ムーブアイとは(16ページ)」を参照してください。

- 不在制御(不在省エネモード)
- 在室率制御(在室率省エネモード)
- 不在停止

手順

1. **F1**、**F2** ボタンで人感不在制御設定を選択し、**決定** ボタンを押す。

人感ムーブアイ設定



2. **F1**、**F2** ボタンで「不在制御設定」または「在室率制御設定」もしくは「不在停止設定」を選択する。

不在制御・在室率制御

F3、**F4** ボタンでOFF／冷房／暖房／冷暖を設定し、**決定** ボタンを押す。

各設定は下記モードに対応します。

OFF：省エネ制御無効

冷房：冷房時のみ省エネ制御有効

暖房：暖房時のみ省エネ制御有効

冷暖：冷房／暖房時に省エネ制御有効

お知らせ


- ・ 上記制御において能力セーブ中の際も、リモコンの設定温度は変更されません。

不在停止

F2、**F3** ボタンで人を検知しなくなってから停止するまでの時間を設定する。

- ・ 停止時間は60分～180分まで10分単位で設定可能です。
- ・ 「--」を選択した場合は不在停止しません。
- ・ 本機能により停止した場合は、リモコンに「不在により停止しました」と表示されます。

※ 下記の場合は不在停止しません。

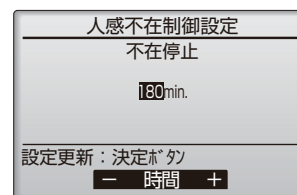
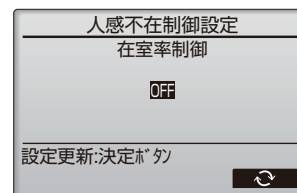
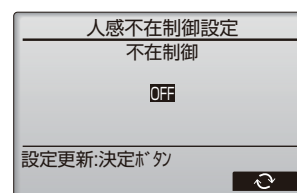
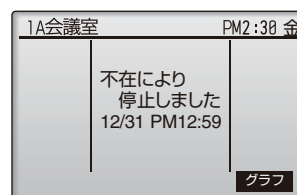
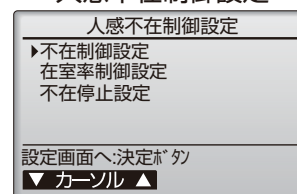
- ・ 運転・停止操作が集中管理中の場合 (MA スマートリモコンに  が表示されている場合)

※ 下記の場合は本機能は無効となります。

- ・ グループ制御時
- ・ 不在停止機能がない室内ユニットとフリーコンポマルチ接続されている場合

※ MA スマートリモコンの操作ロックが有効に設定されている場合にも不在停止は有効です。

人感不在制御設定



お願い

- ・ 人感ムーブアイは人を検知できない場合もありますので、対物・対動植物など誤検知により停止して困る場所では使用しないでください。

お知らせ

- ・ 次のような場合は、人感ムーブアイが不在を検知しにくいときがあり、不在停止しないことがあります。
 - ・ 真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が小さい場合
 - ・ 温度変化の大きい発熱体がある場合
- ・ 次のような場合は、人感ムーブアイが人を検知しにくいときがあり、人がいても不在停止することがあります。
 - ・ 真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が小さい場合
 - ・ 厚着をして肌が表れていない場合
 - ・ 検知範囲内にいない場合
 - ・ 間に棚などの障害物がある場合
 - ・ 温度変化の大きい発熱体がある場合
 - ・ 人移動がなく一定の場所にとどまっている場合

[5] 人感ハイブリッド運転設定のしかた

人感ハイブリッド運転が有効の場合、以下の運転をします。

- ・ 冷房モードで室温が設定温度より低いとき
送風運転を行いながら、上下ベーンをスイングします。風速は設定された風速です。
- ・ 暖房モードで室温が設定温度より高いとき
送風運転を行いながら、上下ベーンを水平吹きにします。風速は弱です。

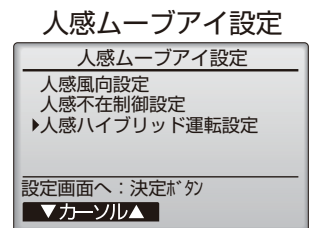
※ 本機能を使用する場合、リモコンの機能選択でモード番号27の設定番号を1にする必要があります。
リモコンに付属の説明書に従い、機能選択モード番号27の設定番号を確認して、1ではない場合は1に設定してください。

※ 加湿器ありの設定の場合、暖房のハイブリッド運転を行いません。

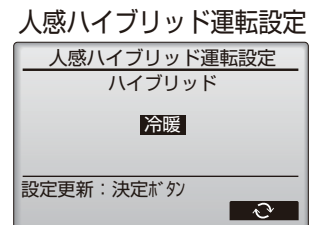
※ 暖房時には、空気の流れを天井にはわせるようにするため、天井が汚れる可能性があります。

手順

1. **F1**、**F2** ボタンで人感ハイブリッド運転設定を選択し、**決定** ボタンを押す。



2. **F4** ボタンでOFF／冷房／暖房／冷暖を設定し、**決定** ボタンを押す。
各設定は下記モードに対応します。
OFF：人感ハイブリッド運転無効
冷房：冷房時のみ人感ハイブリッド運転有効
暖房：暖房時のみ人感ハイブリッド運転有効
冷暖：冷房／暖房時に人感ハイブリッド運転有効



お知らせ

- ・ 人感ハイブリッド運転は、風向自動モードに設定してください。(23ページ)
- ・ 次のような場合は、人感ムーブアイが人を検知しにくいときがあり、その際は人がいても人感ハイブリッド運転にならないことがあります。
 - ・ 真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が小さい場合
 - ・ 温度変化の大きい発熱体がある場合
 - ・ 間に棚などの障害物がある場合
 - ・ 厚着をして肌が表れていない場合
 - ・ 検知範囲内にいない場合
- ・ 人感ハイブリッド運転が有効の場合、2つのベーンは同じ動作をします。
冷房で風当たりが気になる場合は、各吹出口ごとに以下のいずれかの設定をしてください。
 - ・ 人感風向設定 快適自動モード(風よけ設定)
 - ・ 上下風向角度の固定設定

4-9. その他の操作について

4-9-1. 長期間使用しないとき

[1] 運転停止の方法

手順

1. 4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。
2. 室内ユニットの電源を切る。
 - ・電源が入っていると数ワット～数十ワットの電力が消費されます。

[2] 再度使い始めるとき

下記手順1.～4.の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

- ・ユニットの電源を「入」にしてから12時間以上経過後、運転を開始してください。
(電源を入れる場合は、外気温度が－20℃より高い条件で実施してください。)

手順

1. フィルタを清掃して、取り付ける。
 - ・フィルタの清掃は専門の業者に依頼してください。
2. 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。
3. アース線が外れていないことを確認する。
室内ユニットにも取り付けてある場合があります。

お願い


- ・再度アース工事を行う場合は販売店(工事店・サービス店)に相談してください。
4. ドレンホースの折曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどが無いことを確認する。

5. お手入れ

警告

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。


- ◆変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。


- ◆冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



接触禁止

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。


- ◆火傷・感電のおそれあり。



接触禁止

ユニットを水・液体で洗わないこと。


- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

電気部品に水・液体・洗浄スプレー液をかけないこと。


- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。


- ◆感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など、高所では足を踏み外さないように作業すること。


- ◆落下・転倒し、けがのおそれあり。



指示を
実行

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。


- ◆けが・感電のおそれあり。
- ◆回転機器により、けがのおそれあり。



指示を
実行

薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛けること。


- ◆薬品がユニットにかかると、運転時にけがのおそれあり。
- ◆薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。



指示を
実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ◆ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。




指示を
実行

注意

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。


- ◆ほこりが目に入り、けがのおそれあり。



指示を
実行

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- ◆けがのおそれあり。



指示を
実行

[1] お手入れのまえに

電源を「切」にしてください。

[2] 室内ユニット、リモコンの清掃

- やわらかい布でから拭きをしてください。
- 上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押ししたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコン線を引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、リモコンケースは取り外さないでください。

- 手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を布などに少量ふくませて使用し、中性洗剤が残らないように拭き取ってください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

[3] フィルタの清掃

警告

お手入れのときは不安定な台に乗らないこと。

- 落下・転倒し、けがのおそれあり。



禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- 回転機器により、けがのおそれあり。



指示を
実行

フィルター清掃・交換など、高所では足を踏み外さないように作業すること。

- 落下・転倒し、けがのおそれあり。



指示を
実行

注意

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。

- フィルターの自重降下、落下によるけがのおそれあり。



禁止

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ほこりが目に入り、けがのおそれあり。



指示を
実行

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。



接触禁止

お願い

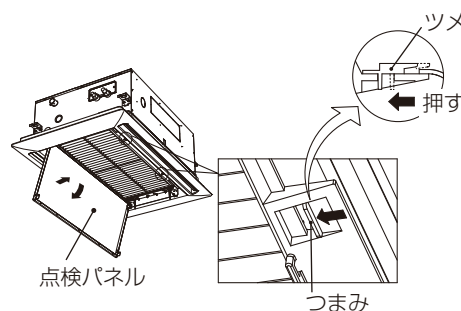
- フィルタ清掃は専門の業者に依頼してください。
- フィルタを取り外した状態で運転をしないでください。内部にごみなどが詰まり、故障のおそれがあります。

(1) フィルタの取外しかた

PL-RP40～160LA形

手順

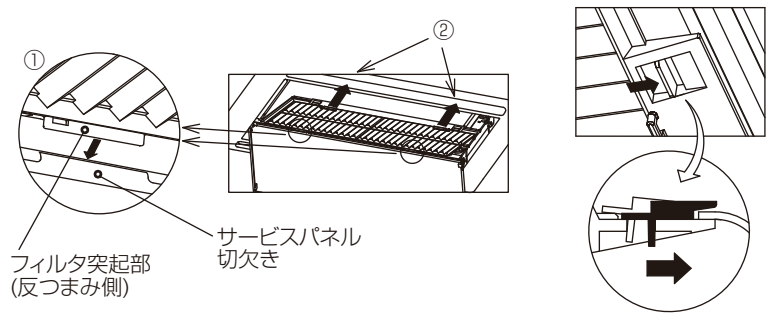
1. 点検パネルを上を押上げながら矢印の方向へスライドさせた後、引いて点検パネルを開く。
2. 右図のとおりつまみを矢印の方向へスライドさせ、ツメを外す。



フィルタを取り付けるときは、下記手順で行ってください。

手順

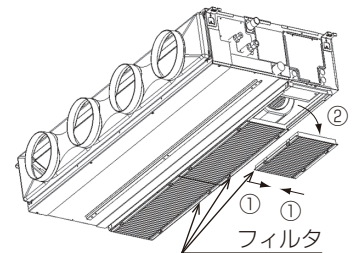
1. 突起部をサービスパネルの切欠きに押し当てる。
2. 1の状態をつまみ側を押し上げる。
3. つまみを矢印の方向へスライドさせ、フィルタを取り付ける。



PD-RP40～160GA形

手順

1. フィルタのつまみを矢印①の方向に引いてフィルタを外し、矢印②の方向に引き抜く。

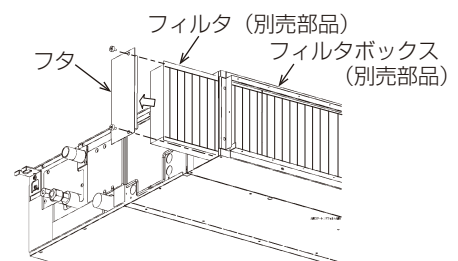


PE-RP50～160DA形

当社別売フィルタを使用する場合は、別売フィルタの説明書を参照してください。

手順

1. フィルタボックスのフタを閉めているねじ(2本)を外す。
2. フィルタボックス開口部よりフィルタを矢印の方向に引き抜く。

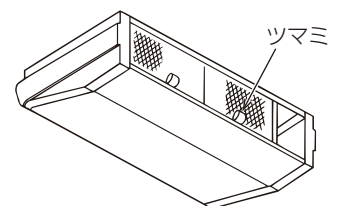


PC-RP224,280BA形

PC-RP224,280CA形

手順

1. ツマミを持ち、上にあげてから手前に引き出す。

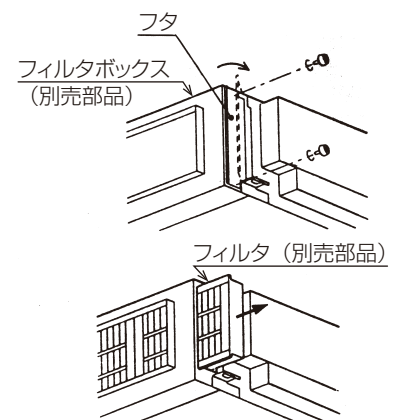


PE-RP224,280EA形

当社別売フィルタを使用する場合は、別売フィルタの説明書を参照してください。

手順

1. フィルタボックスのフタを閉めているねじ(2本)を外す。
2. フィルタボックス開口部よりフィルタを矢印の方向に引き抜く。



(2) フィルタの清掃手順

手順

1. フィルタのほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いする。
 - ・ 硬いブラシやタワシでこすらないでください。変形することがあります。
 - ・ 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
 - ・ 直射日光や火にあてて乾かさないうでください。
 - ・ 熱い湯(約50℃以上)で洗わないでください。変形することがあります。

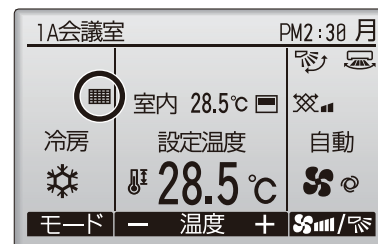
2. 水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。
 - ・フィルタは直接日光や直接火にあてて乾かさないうでください。
3. フィルタを元の状態に取り付ける。(取外しの逆の手順)

(3) フィルタの清掃時期

ワイヤードリモコンの場合は  表示を点灯させて清掃時期をお知らせします。



(ワイヤレスリモコンの場合は表示されません。)

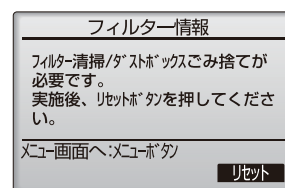
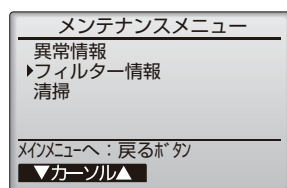
室内ユニット	運転時間
PL-RP40～160LA形	2500時間
PD-RP40～160GA形	2500時間
PE-RP50～160DA形 (別売部品ロングライフフィルタ)	2500時間
PE-RP224,280EA形 (別売部品ロングライフフィルタ)	2500時間
PC-RP224,280BA形	100時間
PC-RP224,280CA形	100時間



[4] 表示をリセットする

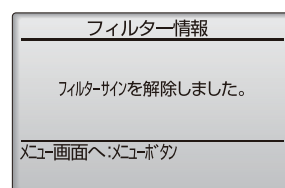
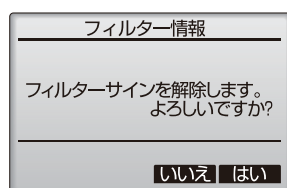
手順

1. メンテナンスメニュー画面で「フィルター情報」を選択し、 ボタンを押す。
2.  ボタンを押す。



3.  ボタンを押す。

完了画面が表示されます。



- ・フィルタ清掃を行ってから表示を消してください。表示を消すとユニットの運転時間もリセットされます。
- ・2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、接続された室内ユニットのうち1台でもフィルタ清掃時期がくれば“フィルター清掃”が表示されます。<ロングライフフィルタ：2500時間、一般フィルタ：100時間>。表示を消すとすべてのユニット運転時間がリセットされます。
- ・運転時間で表示される“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

6. 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。

本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

当社指定のサービス会社と保守契約(有料)いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

点検のご依頼・ご相談は、別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご連絡ください。

JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検(保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む)(いずれも有料)をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理(管理委託を含む)をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA: 社団法人 日本冷凍空調工業会

- JRA GL-14について、<http://www.jraia.or.jp/index.html>
- フロン漏えい点検制度について、<http://www.jarac.or.jp/>

7. 製品独自のお願い事項

7-1. 廃棄について

警告

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ◆ 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を
実行

注意

ユニット内の冷媒は回収すること。

- ◆ 冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- ◆ 大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。



指示を
実行

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

- ・ フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ・ この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、専門の回収業者に依頼してください。

7-2. 移設時の据付場所について

警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- ◆ 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- ◆ 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
指定冷媒以外を封入した場合の不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

改造はしないこと。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

- ・ 増改築・引越しのため、製品を外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買上げの販売店(工事店)、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口(別紙)に相談してください。
- ・ ユニットの移設時は、販売店または専門業者に依頼し、据付場所は「据付工事説明書」に従って選定してください。

[1] 運転音にも配慮を

- ・ 据付けにあたっては、ユニットの質量に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。
- ・ 室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。
- ・ 室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。
性能低下や運転音増大の原因になります。

8. 据付工事の確認と試運転

- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 販売店（工事店）が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店（工事店）から説明を受けてください。
- 据付工事が完了後、次の事項をお客様自身でも確認してください。

内容	チェック欄
• 「安全のために必ず守ること」について説明を受けましたか。	
• 運転手順、安全を確保するための正しい使い方についての説明を受けましたか。	
• 試運転に立ち会いましたか。	
• 据付工事説明書の据付工事のチェックリストがチェックされていることを確認しましたか。	

9. 仕様

PL-RP40～160LA形

形名	40形	45形	50形	56形
騒音<PWL>:強-中-弱-静粛 dB	52-51-50-49	53-52-50-49	58-56-54-51	58-56-54-52
風量:強-中-弱-静粛 m ³ /min	10-9-8-7	11.5-10.5-9.5-8.5	14-13-12-10	14-13-12-10
機外静圧 Pa	0			
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	290×770×650 <20×1080×710>		290×940×650 <20×1250×710>	
質量 kg	21 <7>	24 <8>	26 <8>	

形名	63形	71形	80形	112形
騒音<PWL>:強-中-弱-静粛 dB	58-56-54-53	58-56-55-54	59-57-56-55	62-61-60-58
風量:強-中-弱-静粛 m ³ /min	14-13-12-10	14-13-12-10	14-13-12-10	24-22.5-20.5-18
機外静圧 Pa	0			
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	290×940×650 <20×1250×710>			331×1440×650 <20×1750×710>
質量 kg	26 <8>			45 <11.5>

形名	140形	160形
騒音<PWL>:強-中-弱-静粛 dB	66-65-62-61	67-66-63-62
風量:強-中-弱-静粛 m ³ /min	29-27-24.5-20	30-27-24.5-20
機外静圧 Pa	0	
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	331×1440×650 <20×1750×710>	
質量 kg	47 <11.5>	

PD-RP40～160GA形

形名	40形	50形	56形	63形	71形	80形
騒音<PWL>:強-中-弱 dB	58-55-52	59-55-53	59-56-53	60-57-54	60-57-55	60-57-56
風量:強-中-弱 m ³ /min	14-12-10			19-16-13		
機外静圧 Pa	10 <30> <60> <110> { 20 <40> <70> <120> }					
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	272×900×701			272×1100×701		
質量 kg	29			33		

9. 仕様

形名	112形	140形	160形	
騒音<PWL>：強-中-弱	dB	62-60-59	64-62-61	67-65-63
風量：強-中-弱	m ³ /min	28-24-20	31-26-22	34-29-24
機外静圧	Pa	10<30><60><110> { 20<40><70><120> }		
外形寸法(高さ×巾×奥行)	mm	272 × 1400 × 701		
質量	kg	42		

PE-RP50～160DA形

形名	50形	56形	63形	71形	80形	112形	140形	160形	
騒音<PWL>：強-中-弱	dB	56-53-51	57-54-52	57-54-53	57-55-54	59-56-55	62-60-58	63-61-60	63-62-61
風量：強-中-弱	m ³ /min	17-14.5-12		21-18-14.5		25-21-17.5	34-29-24		
機外静圧	Pa	50<100><150>							
外形寸法(高さ×巾×奥行)	mm	250 × 900 × 732		250 × 1100 × 732			250 × 1400 × 732		
質量	kg	27		29			38		

PE-RP224,280EA形

形名	224形	280形	
騒音<PWL>：強-中-弱	dB	64-64-63	68-67-67
標準風量：強-中-弱	m ³ /min	60-51-42	72-61-50
標準機外静圧	Pa	75<60><100><150><200>	
外形寸法(高さ×巾×奥行)	mm	470 × 1370 × 1120	
質量	kg	87	87

PC-RP224,280BA形

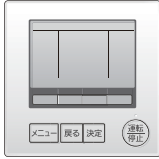






PC-RP224,280CA形

形名	224形	280形	
騒音<PWL>：強-弱	dB	75-72	78-76
標準風量：強-弱	m ³ /min	58-49	70-60
標準機外静圧	Pa	0	0
外形寸法(高さ×巾×奥行)	mm	320 × 1800 × 800	320 × 2100 × 800
質量(本体+パネル)	kg	84	101

- ・ 騒音値はA特性値です。
- ・ PL-RP40～160LA形の< >内数値は化粧パネルの値です。
- ・ 機外静圧の< >内の数値は静圧設定変更時の値を示します。
- ・ PD-RP40～160GA形の{ }内の数値は角ダクト装着時の値を示します。(カッコ{ }なしは円形ダクト時の値です。)
- ・ 騒音レベルは標準機外静圧時の値となっています。
- ・ 電気特性は製品に貼付けしている製品銘板に記入しています。

10. 修理を依頼する前に

- 以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときはご使用を中止し、配線用遮断器(ブレーカ)を切(OFF)にしてから、お買上げの販売店(工事店・サービス店)にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない。 よく暖まらない。	フィルタが汚れ、目詰まりして風量が低下している。	フィルタの清掃をしてください。
	設定温度が高くまたは低くなっている。	温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
	室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれている。	室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
	窓やドアが開いている。	窓やドアを閉めてください。
	風速を弱・自動で運転している場合、冷えや暖まりが弱い場合があります。	風速を中・強に変更してください。
	圧縮機の予熱中です。外気温度が-20℃より低い条件で電源を入れた場合、最大で12時間運転できない場合があります。	—
	風速自動設定時は、室内温度が設定温度に近づくと静音性を優先し風速を下げます。	風速を強などに変更してください。
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。 暖房準備中表示がでる。	暖かい風をおとどけるため準備中です。	そのまま待ってください。
冷房・ドライ・自動冷房運転中に風が止まる。 運転開始時にすぐに風がでない。	冷たい風をおとどけるための準備です。	—
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。	そのまま約10分ほど待ってください。
風向が途中で変わる、風向が設定どおりにならない。	暖房運転中、吹出し温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。	—
風向を変化させたときベーンが1往復以上しないと指定位置に停止しない。	風向変化時は、基準位置検知動作をしてから所定の角度にベーンが動きます。	—
水の流れるような音やときどき“プシュ”と音がする。	ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切り替わるときの音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
部屋がにおう。	室内ユニットが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、または衣類などにしみ込んだ臭いを吸い込んで、風を吹き出すためです。	—
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。	—
	霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。	—
室外ユニットより水・水蒸気が出る。	冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。	—
	暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。	—
	霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出る場合があります。	—
リモコンの運転表示が点灯しない。	室内ユニットの配線用遮断器(ブレーカ)が切(OFF)になっています。	配線用遮断器(ブレーカ)を入(ON)にしてください。 表示部に野線が表示されます。 
リモコン表示部に  の表示が出ている。	 の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。	—
リモコン表示部に  の表示が出ている。	 の表示が点灯中はリモコンでの運転モードの操作が禁止となっています。	—
リモコン表示部に  の表示が出ている。	 の表示が点灯中はリモコンでの設定温度の操作が禁止となっています。	—

10. 修理を依頼する前に

現象	原因の確認	処置方法												
再運転のために停止後すぐに【運転/停止】ボタンを押したが、すぐに運転を再開しない。	ユニットを保護するため、マイコンの指示で止まっています。	再運転をした場合は、運転するまで約3分間待ってください。												
【運転/停止】ボタンを押さないのに動き出した。	入タイマ運転をしている。	【運転/停止】ボタンを押して停止してください。												
	遠方コントロールが接続されている。	運転を指示したところへ連絡・確認してください。												
	Ⓜの表示が点灯している。	運転を指示したところへ連絡・確認してください。												
	停電自動復帰が設定されている。	【運転/停止】ボタンを押して停止してください。												
【運転/停止】ボタンを押さないのに停止した。	切タイマ運転をしている。	【運転/停止】ボタンを押して運転を再開してください。												
	遠方コントロールが接続されている。	停止を指示したところへ連絡・確認してください。												
	Ⓜの表示が点灯している。	停止を指示したところへ連絡・確認してください。												
停止ボタンを押したのに室外ユニットが動いている。	運転停止後の霜取を行っているためです。	—												
リモコンのタイマ運転がセットできない。	タイマ設定が無効となっている。 タイマ設定が有効なときは、Ⓜ、Ⓜのいずれかが表示されています。	—												
リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る。	初期設定(約3分)を行っています。	そのまま待ってください。												
リモコンにエラーコードが表示される。	ユニットに障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。	自分では絶対に修理しないでください。 ユニットの電源を切り、お買上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。												
排水音やモータの回転音がある。	冷房運転停止時に、停止後3分間ドレンアップメカを運転してから停止します。	3分間待ってください。												
	運転を停止中でも他の室内ユニットが冷房運転している場合や、加湿器を使用している場合、ドレン水が発生します。ドレン水がたまるとドレンアップメカを運転し、排水を行います。	—												
騒音が仕様値よりも高い。	室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも一般的に次に示す値ほど高くなります。(SPL値)	—												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>吸音効果の高い部屋</th> <th>普通の部屋</th> <th>吸音効果の低い部屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般例</td> <td>放送スタジオ、音楽室など</td> <td>応接室、ホテルロビーなど</td> <td>オフィス、ビジネスホテル</td> </tr> <tr> <td>騒音アップ値</td> <td>3~7dB</td> <td>6~10dB</td> <td>9~13dB</td> </tr> </tbody> </table>			吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋	一般例	放送スタジオ、音楽室など	応接室、ホテルロビーなど	オフィス、ビジネスホテル	騒音アップ値	3~7dB	6~10dB	9~13dB
			吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋									
一般例	放送スタジオ、音楽室など	応接室、ホテルロビーなど	オフィス、ビジネスホテル											
騒音アップ値	3~7dB	6~10dB	9~13dB											
ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。	乾電池が消耗しています。	乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。 ※ 新しい乾電池でも表示の出ない場合は、乾電池の入れ方(+、-)を再度確認してください。												
ワイヤレスリモコン受光部の運転/停止ランプが点滅する。	ユニットに障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。	自分では、絶対に修理しないでください。 ユニットの電源を切り、お買上げ販売店に製品名を連絡してください。												
製品のプラスチックが変色している。	日光の反射などによる紫外線や温度などにより変色することがあります。 製品の使用には問題ありません。	—												

11. 法令関連の表示

11-1. 標準的な使用条件

- 使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、ユニットが異常停止したり、故障の原因となります。
スリムZR・スリムER・冷房専用・ズバ暖スリムシリーズの運転使用温度範囲

		室内	天井内 ^{※1}	室外
冷房・ドライ	乾球温度	19℃～32℃	～30℃	-5℃ ^{※2} ～52(50)℃ ^{※3}
	湿球温度	15℃～23℃	～80% (相対湿度)	—
暖房	乾球温度	17(10) ^{※4} ℃～28℃	—	-20(-25)℃ ^{※4} ～21℃
	湿球温度	—	—	-20(-25)℃ ^{※4} ～15℃

※1 天吊形などの露出タイプは除く。

※2 別売のエアーガイドで室外ユニット吸込温度-15℃までの年間冷房運転可能。

※3 ()はP224, 280形およびズバ暖スリムでの温度です。

※4 ()はズバ暖スリムの温度です。

- 室外ユニットの使用温度範囲は室外ユニットにより上表と異なることがあります。各室外ユニットの使用温度範囲はカタログ・仕様書などで確認してください。

以下のような場合には経年劣化を促進させ、設計標準使用期間よりも早期に運転上支障を生じるおそれがあります。

- 製品の使用条件または使用頻度に係る実際の数値が算定の根拠となった数値よりも高い場合
- 目的外の用途に使用された場合
- 標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合

[1] 保守点検契約のおすすめ

ユニットを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ごみやほこりなどによりドレンホースが詰り、異常停止することがあります。さらに補助電気ヒータ付き機種は、ヒータにごみやほこりなどが付着することがあります。

通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。

11-2. 点検と保全周期の目安

保全周期は保証期間を示しているものではありません。

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間
モータ(ファン、ルーバ、ドレンポンプ用など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ(電磁弁、四方弁など)		20,000時間
センサ(サーミスタ、圧力センサなど)		5年
ドレンパン		8年

- 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- この保全周期は、製品を長く安心して使用するために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のために役立ててください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
- 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時に確認してください。
- 使用環境、使用条件によりドレンパンの清掃や抗菌剤投入が必要になる場合があります。

前ページの表は次の使用条件が前提となります。

- ・ 頻繁な発停のない、通常の使用状態であること。
(機種によりこととなりますが、通常の使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ・ 製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年と仮定しています。(氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。)

また、下記の項目に適合するときには、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮してください。

- ・ 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所で使用する場合。
- ・ 電源変動(電圧、周波数、波形歪みなど)が大きい場所で使用する場合(許容範囲外での使用はできません。)
- ・ 振動、衝撃が多い場所に設置して使用する場合。
- ・ ほこり、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミストなど良くない雰囲気を使用する場合。
- ・ 頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。(24時間空調など)

11-3. 消耗部品の交換周期目安

交換周期は保証期間を示しているものではありません。

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルタ、清潔Vフィルタ	1年	5年
高性能フィルタ、アレル除菌フィルタ		1年
ファンベルト		5,000時間
平滑コンデンサ		10年
ヒューズ		10年
加湿エレメント(自然蒸発式)		3年
加湿エレメント(透湿膜式)		5年
クランクケースヒータ		8年
ドレンパン抗菌剤(標準搭載機種の場合のみ)		3年
オイルフィルタエレメント		随時

- ・ 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- ・ この交換周期は、製品を長く安心して使用するために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のために役立ててください。
- ・ 加湿エレメントは交換が必要な消耗部品です。表は供給水質が市水・上水で硬度70以下の場合の、交換の目安を示します。供給水中の硬度、イオン状シリカ、酸消費量が多い場合、加湿エレメントの劣化が早まります。劣化すると加湿能力の低下、変色、白粉発生などが現れることがあります。
- ・ 使用環境、使用条件により抗菌剤の交換周期の短縮を考慮してください。
- ・ 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時に確認してください。

12. 保証とアフターサービス

■ 保証書

- 保証書は室内ユニットに添付しております。セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は、必ず「お買上げ日(据付日または試運転完了日)・販売店名(工事店名)」などの記入をお確かめのうえ、販売店(工事店)からお受け取りください。保証書は内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買上げ日(据付日または試運転完了日)から
1年間です

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 製品の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れなどによる家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品の製造打切り後10年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店(工事店・サービス店)か「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(別紙)にご相談ください。(所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。)

■ 修理を依頼されるときは(出張修理)

- 「修理を依頼する前に」(49ページ)にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、ご使用を中止し必ず配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にしてから、お買上げの販売店(工事店・サービス店)にご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定にしたがって、販売店(工事店・サービス店)が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。なお、離島および離島に準じる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。料金などについては販売店にご相談ください。点検・診断のみでも有料になることがあります。ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。
- 修理料金は
技術料+部品代+出張料などで構成されています。機器の接続・機器の調整・取り扱い方法の説明なども修理料金に含まれます。
 - 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
 - 部品代…修理に使用した部品代金です。
 - 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する費用(出張料)や有料駐車場の費用(駐車料)を別途いただく場合があります。
- ご連絡いただきたい内容
 1. 品名 パッケージエアコン
 2. 形名・製品番号 室内ユニットは、保証書に記入してあります。
室外ユニットは、室外製品銘板に記入してあります。
 3. お買上げ日 年 月 日
 4. 故障の状況 (できるだけ具体的に、リモコンのエラー表示番号なども)
 5. ご住所 (付近の目印なども)
 6. お名前・電話番号・訪問希望日

■ この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

●お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
- あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - 法令などの定める規定に基づく場合。
- 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

13. 環境関連の表示

[1] 再資源化について

このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として製品本体を材質別に容易に分解できる構造になっています。

[2] フロン排出抑制法

ユニットを廃棄される時は、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買上げの販売店（工事店）、またはメーカー指定のサービス店、もしくはお客様相談窓口にご相談してください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。



室内ユニットおよび室外ユニットに表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを確認していただくための表示です。

この製品はフロン排出抑制法の第一種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

室内ユニットにはフロン類の種類・GWP（地球温暖化係数）が表示されています。システム全体のフロン類の数量は室外ユニットに表示されています。

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- 冷媒の種類および数量並びにGWP（地球温暖化係数）は、室外ユニットに記載されています。
- 冷媒を追加充てんした場合やサービスで冷媒を入れ換えた場合には室外ユニットの<冷媒量記入のお願い>の記入欄に必要事項を記入してください。

[3] 「フロン排出抑制法」に基づく冷凍空調機器の点検について

冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、本製品を所有されているお客様ご自身による簡易点検が義務づけられています。

目視による外観点検を3か月に1回以上実施し、記録することが定められています。お客様ご自身での点検が難しい場合や、点検で漏えいや異常があった場合は、専門業者による点検を依頼してください。

詳細は下記のサイトを参照してください。

JARAC 一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 <http://www.jarac.or.jp/>

点検頻度	点検方法	点検項目
3か月に1回以上	お客様(=所有者様)による目視での外観点検	ユニットからの異常音、ユニットの外観損傷・摩耗・腐食・さび・油漏れ、熱交換器への霜の付着

14. ソフトウェア使用承諾

PL-RP・LA17形室内ユニットは、Apache License, Version 2.0が適用されるソフトウェアを含んでいます。以下にApache License, Version 2.0のライセンス規約を記載します。

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

- You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
- You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
- You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
- If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions.

Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

14. ソフトウェア使用承諾

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets “{}” replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same “printed page” as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright {yyyy} {name of copyright owner}

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the “License”); you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

MEMO

MEMO

MEMO

愛情点検

●長年ご使用のパッケージエアコンの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水がもれる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)
冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2023年3月作成

WT10479X01